

出水総合医療センター－非常用発電機設備更新工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E- 1	表紙・図面リスト	NO, SCALE
E- 2	電気設備特記仕様書	NO, SCALE
E- 3	付近見取図・配置図・特記事項	1/300
E- 4	キュービクル単線結線図(改修図)	NO, SCALE
E- 5	NO. 1 非常用発電機仕様・結線図・姿図	NO, SCALE
E- 6	NO. 1 非常用発電機設備機器配置平面図(改修図)・陣笠、排気煙道詳細図	1/50
E- 7	NO. 2 非常用発電機仕様・結線図・姿図	NO, SCALE
E- 8	NO. 2 非常用発電機設備機器配置平面図(改修図)・断面図・燃料小出槽姿図	1/50
E- 9	非常用発電機設備地階平面図①(改修図)・発電機電源系統図	1/50
E- 10	非常用発電機設備地階平面図②(改修図)・電灯設備地階平面図(改修図)	1/50
E- 11	非常用発電機設備R階平面図(改修図)	1/50
E- 12	キュービクル単線結線図(仮設図)	NO, SCALE
E- 13	仮設計画図①・仮設切替要領図	1/50, 20
E- 14	仮設計画図②・仮設切替要領図	1/50, 20
E- 15	キュービクル単線結線図(撤去図)	NO, SCALE
E- 16	NO. 1 非常用発電機設備機器配置平面図(撤去図)・断面図	1/50
E- 17	NO. 2 非常用発電機設備機器配置平面図(撤去図)	1/50
E- 18	非常用発電機設備地階平面図①(撤去図)・発電機電源現況系統図	1/50
E- 19	非常用発電機設備地階平面図②(撤去図)・電灯設備地階平面図(撤去図)	1/50
E- 20	非常用発電機設備R階平面図(撤去図)	1/50
E- 21	NO. 2 非常用発電機搬入・搬出クレーン配置計画図	1/400

特記仕様書
1. 工事概要
1.1 工事場所
1.2 建物概要
2. 特記事項
3. 設計図書
4. 工事内容
5. 材料
6. 工事写真
7. 備考

区分 項目 特記事項
7 製作間その他
8 工事打合簿
9 立会検査を要する
10 工事報告
11 完成図
12 試験成績書
13 申請書類
14 完成図書
15 設備仕様
16 マンホール

区分 項目 特記事項
17 プレート
18 配管の塗装
19 ケーブル配線
20 産業廃棄物の処理
21 電線の色別
22 電線経路
23 電線回路

区分 項目 特記事項
24 照明器具の取付
25 電柱の長さ
26 配線器具
27 位置ボックス
28 機器の取付高さ
29 分電盤制御盤
30 ヒューズ等の予備数
31 電柱および支柱材料
32 照明器具等
33 ボックスの絶縁塗装
34 避雷針
35 避雷導線
36 避雷接地極
37 接地工事および接地極
38 金属管配線
39 相の色別
40 高圧母線のサイズ
41 受配電盤
42 接地工事および接地極
43 母線相互の間隔
44 機器及び材料
45 製造所の指定
46 改訂日

区分 項目 特記事項
1 発電装置
2 電線の色別
3 端子盤
4 電柱及び支柱材料
5 ヒューズ等の予備数
6 機器の取付高さ
7 位置ボックス
8 絶縁抵抗値
9 塗装
10 化学物質を放散する建築材料等
11 石綿対策
12 機器及び材料
13 製造所の指定
14 改訂日



付近見取図 S=NO, SCALE



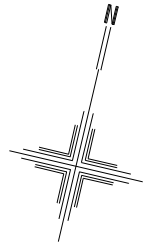
- 【工事概要】
- ①NO.1非常用発電機(地階発電機室内)更新
 - ②NO.1非常用発電機用排気煙道の改修
 - ③NO.2非常用発電機(屋上)更新
 - ④非常用発電機更新工事中の仮設電源工事

本館
【工事対象建物】

- ～特記事項～
- ・本工事施工にあたっては、監督員並びに出水総合医療センター関係者と連絡・打合せを十分に
行い、業務に支障を及ぼす事のないようにするとともに、安全対策には万全を期すこと
 - ・既設建物等のほつり、貫通が必要な箇所については、原形復旧が本工事の範囲とする
 - ・露出施工になる場合施工する配線ルートや器具設置位置を施工図で十分検討し建築物工事として
建物全体の出来映え向上に努めること
 - ・図面に記載の無い物でも機能上当然必要となる物は本工事に含む
 - ・既設図、仮設図は、参考とし施工前に既設を十分調査して他施設へ支障が無いように処置すること
 - ・外部で使用する配管支持等はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ製を原則とする
 - ・既設建物及び機器等へ損傷を与えた場合は受注者の負担において原形復旧すること
 - ・コンクリート壁に貫通を要する場合は、鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないようにすること
 - ・機器のあと施工アンカーは新規で打設を行い引っ張り荷重試験を行うこと

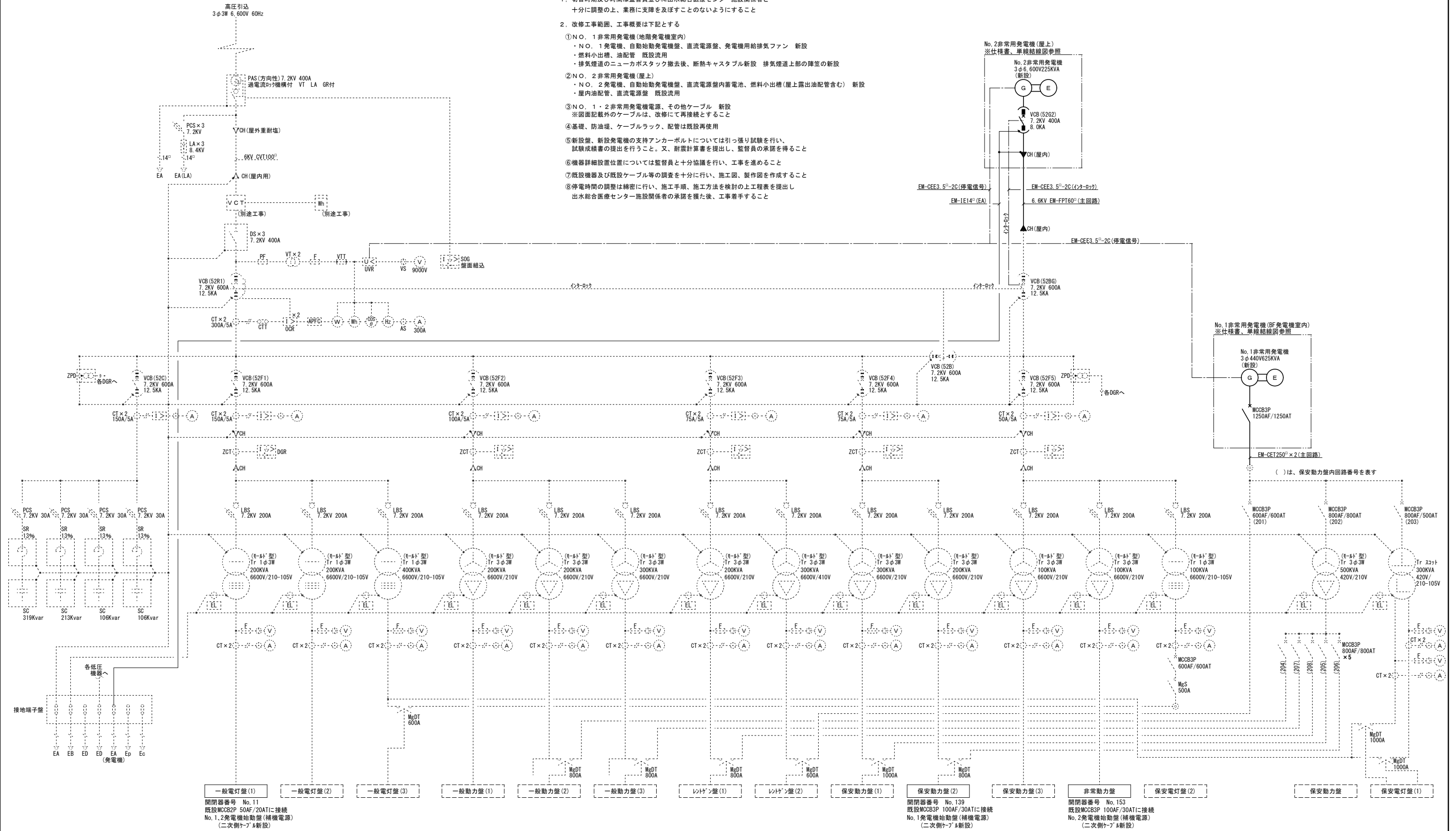
配置図 S=1/300

斜線：工事対象場所を示す



改修特記事項

1. 切替時期及び時間は監督員並びに出水総合医療センター施設関係者と十分に調整の上、業務に支障を及ぼさないようにすること
2. 改修工事範囲、工事概要は下記とする
 - ① NO. 1 非常用発電機 (地階発電機室内)
 - ・ NO. 1 発電機、自動始動発電機盤、直流電源盤、発電機用給排気ファン 新設
 - ・ 燃料小出槽、油配管 既設流用
 - ・ 排気煙道のニューカボスタック撤去後、断熱キャスタブル新設 排気煙道上部の障子の新設
 - ② NO. 2 非常用発電機 (屋上)
 - ・ NO. 2 発電機、自動始動発電機盤、直流電源盤内蓄電池、燃料小出槽 (屋上露出油配管含む) 新設
 - ・ 屋内油配管、直流電源盤 既設流用
 - ③ NO. 1・2 非常用発電機電源、その他ケーブル 新設
※図面記載外のケーブルは、改修にて再接続とすること
 - ④ 基礎、防油堤、ケーブルラック、配管は既設再使用
 - ⑤ 新設盤、新設発電機の支持アンカーボルトについては引っ張り試験を行い、試験成績書の提出を行うこと。又、耐震計算書を提出し、監督員の承諾を得ること
 - ⑥ 機器詳細設置位置については監督員と十分協議を行い、工事を進めること
 - ⑦ 既設機器及び既設ケーブル等の調査を十分に行い、施工図、製作図を作成すること
 - ⑧ 停電時間の調整は綿密に行い、施工手順、施工方法を検討の上工程表を提出し、出水総合医療センター施設関係者の承諾を得た後、工事を着手すること



キュービクル単線結線図 (改修図)

— 実線 (太線) 部分 : 新設を表す
- - - 点線 (細線) 部分 : 既設を表す

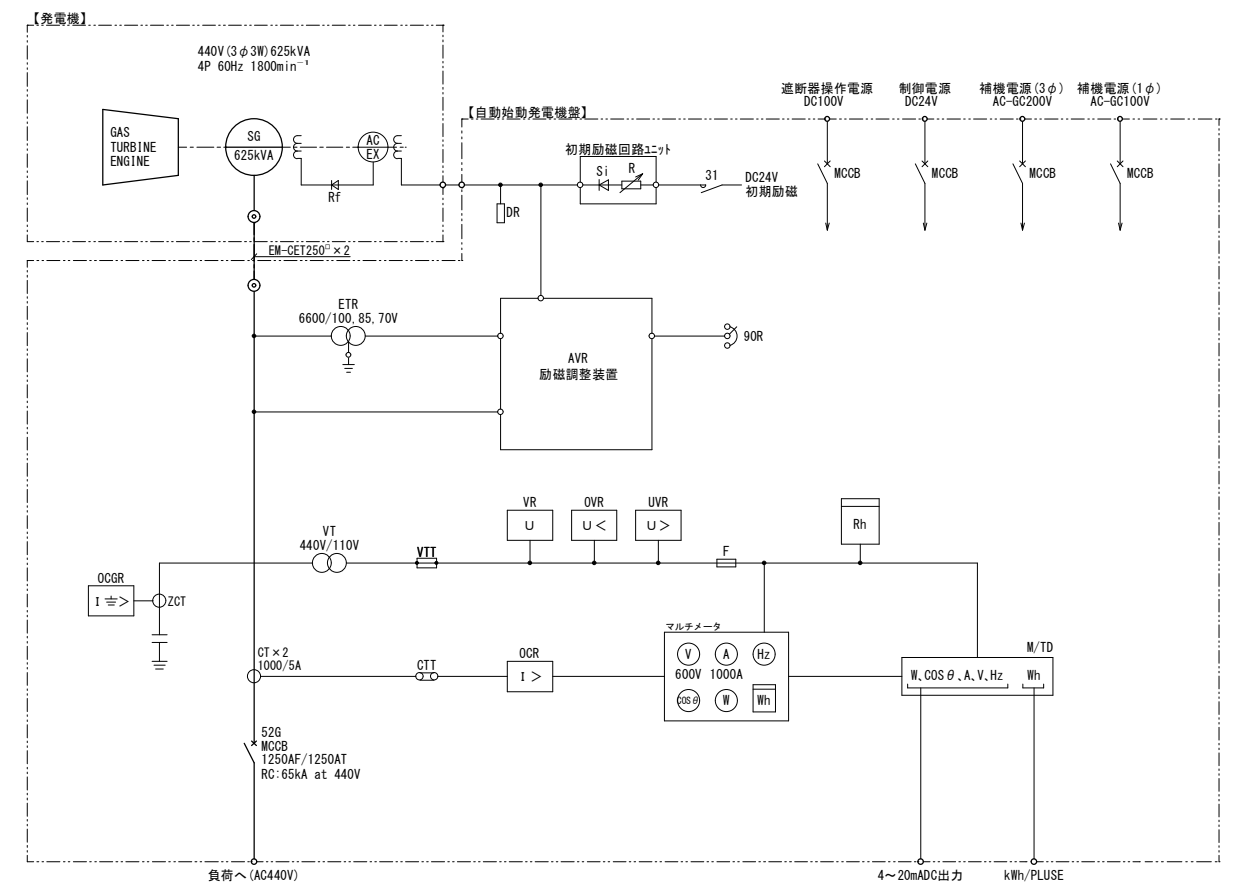
- 1、種類
日本内燃力発電設備協会の認定する40秒始動
オープン式(日本内燃力発電設備協会発行の消防認定証書付とする)
- 2、適用規格
建築基準法
日本工業規格(JIS)
日本電気規格調査会標準規格(JEC)
日本電機工業会標準規格(JEM)
電気設備技術基準
消防法
消防庁自家発電設備の技術基準
公共建築工事標準仕様書(電気設備工事項)平成31年度
(社)日本内燃力発電設備協会認定基準
労働安全衛生法
- 3、共通項目
(1)用途:非常用(保安用)
(2)施設場所:地階発電機室(屋内)
(3)周囲温度:5℃~40℃
(4)周囲湿度:40~80%以下
(5)設置高度:標高150m以下
(6)耐震基準:機器の耐震設計は「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」に依る(水平1.0G 垂直0.5G)
- 4、No.1発電機【1台】
(1)形式:保護形自己空冷式三相交流発電機(IP20)
(2)容量:625kVA
(3)電圧:440V(3φ3W)
(4)周波数:60Hz
(5)相数:3相
(6)極数:4P
(7)回転数:1800min⁻¹
(8)力率:0.8(遅れ)
(9)絶縁:F種
(10)定格:連続
(11)励磁方式:ブラシレス励磁方式
(12)電圧変動率:整定時3.5%以内、瞬時30%以内、整定時2秒以下
(13)波形歪み率:無負荷時定格電圧10%以内(定格周波数に対して)
(14)過速度耐力:120%(2分間)
(15)過電流耐力:150%(15秒)かつ110%(30分間)
(16)等価逆相耐量:15%
- 5、No.1原動機(ガスタービンエンジン)【1基】
(1)形式:単相開放サイクル軸式
(2)出力:588kW
(3)回転数:31500/1800min⁻¹
(4)燃料消費量:A重油 270L/Hr(裕度+5%)程度以下
(5)始動方式:電気式(セルモータ式)
(6)冷却方式:自己空冷式
(7)負荷投入率:100%(抵抗負荷)
(8)速度調定率:±0.5%
(9)瞬時速度変動率:±4.5%以内(全負荷投入及び遮断)
- 6、No.1自動始動発電機盤【1面】
(1)形式:鋼板製・閉鎖自立屋内型
(2)操作電源:DC100V
(3)操作方式:自動及び手動操作可能
(4)収納機器:主回路、励磁装置、補機回路
遮断器MCCB(電動式)690V 1250A 65kA
発電装置コントローラ(制御、表示、保護、計測)
燃料小出槽液面リレー、給気・換気ファン制御回路含む
- 7、No.1始動用直流電源盤【1面】
(1)形式:鋼板製・閉鎖自立屋内型
(2)閉鎖階級:JEM1265AX
(3)蓄電池:据え置き鉛蓄電池(HS)
(HS 24V-300Ah)始動用
(HS 24V-30Ah)制御用
(4)充電器:全自動充電器
- 8、No.1燃料小出槽【1基】(既設流用)
(1)種類:鋼板製・溶接型
(2)容量:490L
(3)給油レベル:油面ゲージ付きとし、油面警報を設ける
(3)付属品:油面計、架台、フロートスイッチ(警報用)
ウイングポンプ
- 9、燃料返油ポンプ【1台】(既設流用)
(1)形式:ギアポンプ
(2)電動機:0.75kW(吸込圧:-0.05MPa)
- 10、発電装置給気ファン【1台】
(1)形式:軸流式
(2)電動機:3.7kW

- 11、発電装置給気消音器【1基】
(1)形式:スプリッター式
- 12、発電装置換気ファン【1台】
(1)形式:軸流式
(2)電動機:2.2kW
- 13、発電装置換気消音器【1基】(既設流用)
(1)形式:スプリッター式
- 14、その他付属機器
(1)風量調整ダンパ:3台
(2)換気・給気ダンパ(PFD):各1台(既設流用)
- 15、ユーティリティ供給【1基】
(1)補機用電源:AC-GC200V 60Hz 三相
:AC-GC100V 60Hz 単相
(2)遮断器操作電源:DC100V(ケーブル既設流用)
- 16、予備品及び付属品
メーカー標準保守用品
- 17、騒音・振動
(1)発電装置側 1mにおける騒音レベルは85dB(A)以下とする
(2)排気消音器出口1mにおける騒音レベルは85dB(A)以下とする
(3)給気消音器入口1mにおける騒音レベルは85dB(A)以下とする
(4)換気騒音は消音器流用とする
- 18、その他
・既設基礎を流用する為、必要であればハツリなどを行い据え付けること
・以下の届出を行うこと
(1)既設発電機
・少量危険物貯蔵取扱届出(所轄消防)
・自家用電気工作物届出報告(九州産業保安監督部)
(2)新設発電機
・少量危険物貯蔵取扱届出(所轄消防)
・発電設備設置届出(所轄消防)
・工事計画届出(九州産業保安監督部)
・搬入時に発電装置は分解して搬入し内部で組立とすること

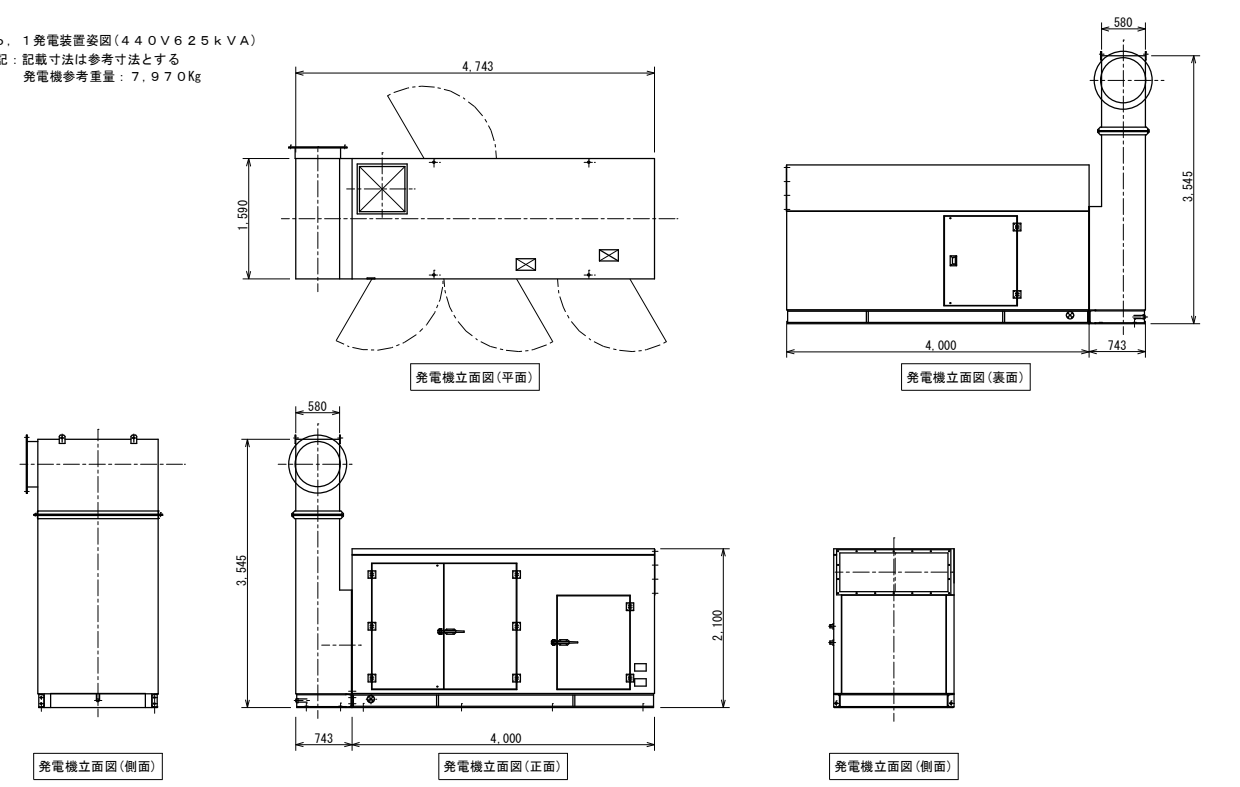
19、監視・操作項目
下記の警報表示を行う
(警報ケーブルは再利用とし、動作確認を行うこと)

故障項目	原動機		遮断器		警報			遠方出力	
	停止	開放	表示	ベル	ブザー	個別	一括		
過回転	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
排気温度高(2段)	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
潤滑油温度高	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
潤滑油圧低下	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
始動渋滞	○	-	◎	○	-	-	-	-	-
非常停止	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
過電圧	○	○	◎	○	-	-	-	-	○
不足電圧	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
ハロン放出	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
ダンパ閉	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
E.L.C.B異常	○	○	◎	○	-	-	-	-	-
過電流	-	○	◎	○	-	-	-	-	-
地絡	-	-	○	-	○	-	-	-	-
排気温度高(1段)	-	-	○	-	○	-	-	-	-
検出器故障	-	-	○	-	○	-	-	-	-
補機故障	-	-	○	-	○	-	-	-	-
蓄電池液面低下	-	-	○	-	○	-	-	-	-
燃料小出槽油面上昇	-	-	○	-	○	-	-	-	-
燃料小出槽油面低下	-	-	○	-	○	-	-	-	-

20、単線結線図



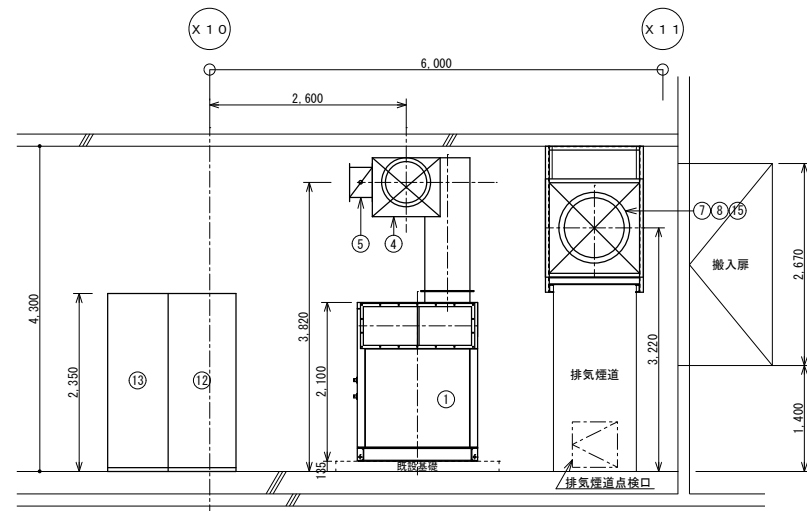
21、No.1発電装置姿図(440V625kVA)
注記:記載寸法は参考寸法とする
発電機参考重量:7,970Kg



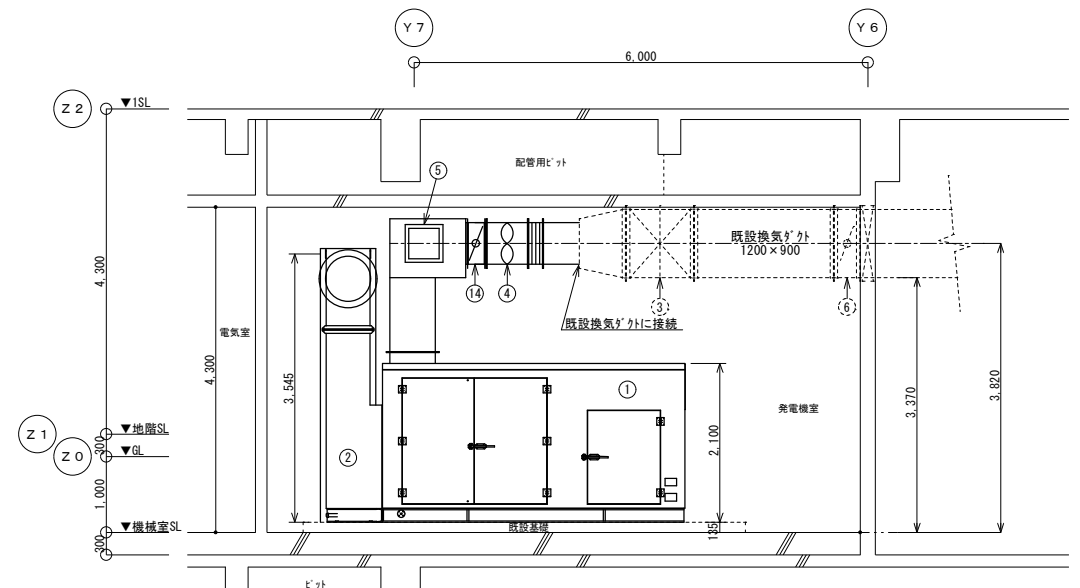
機器リスト(改修)

名称	仕様	数量	改修範囲	参考重量	備考
① ガスタービン発電装置	3φ 440V 625KVA 85dB(A)	1	新設	静荷重7970kg 動荷重8670kg	既設基礎流用
② 排気消音器	85dB(A)	1	新設		
③ 換気消音器	85dB(A) 190m ³ /min時60pa損失 900×900×900	1	既設流用		
④ 換気ファン	3φ3W200V 2.2kW 風量: 190m ³ /min 静圧: 310pa	1	新設	100kg	
⑤ 風量調整ダクト(VD)	手動操作	1	新設	30kg	
⑥ 換気防火ダクト(FD)	1200×900	1	既設流用		
⑦ 給気消音器	85dB(A)	1	新設	90kg	
⑧ 給気ファン	3φ3W200V 3.7kW 風量: 415m ³ /min 静圧: 280pa	1	新設	220kg	
⑨ 換気防火ダクト(FD)		1	既設流用		
⑩ 燃料小出槽	490L(A重油)	1	既設流用		既設防油堤流用
⑪ 燃料返油タンク	3φ3W200V 0.75kW	1	既設流用		
⑫ 自動始動発電機盤	HS48V-300Ah×24t ϕ (始動用)	1	新設	900kg	
⑬ 始動用直流電源盤	HS24V-30Ah×4t ϕ (制御用)	各1式	新設	1150kg	
⑭ 風量調整ダクト(VD)	手動操作	1	新設	30kg	
⑮ 風量調整ダクト(VD)	手動操作	1	新設	30kg	
⑯ 給気吹出口		1	既設流用		

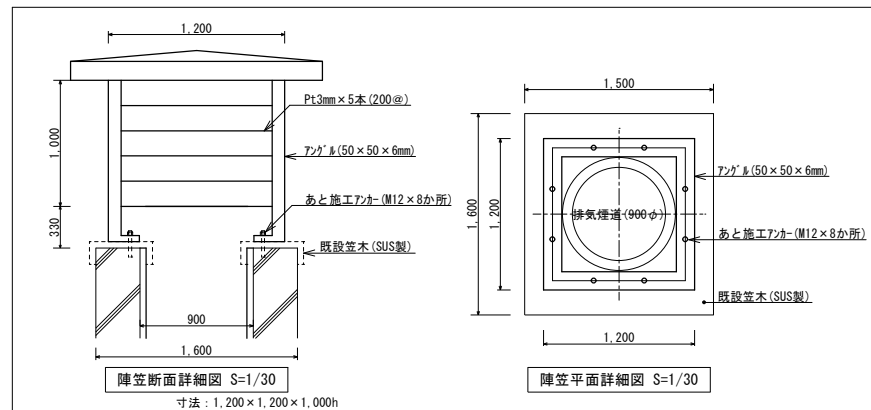
・搬入時に発電装置は分解して搬入し内部で組立とすること
 ■ : コンクリート新り、復旧範囲を表す(本工事) ※ : 外置取付共
 ○ : 配管立上げ・立下げ位置を表す



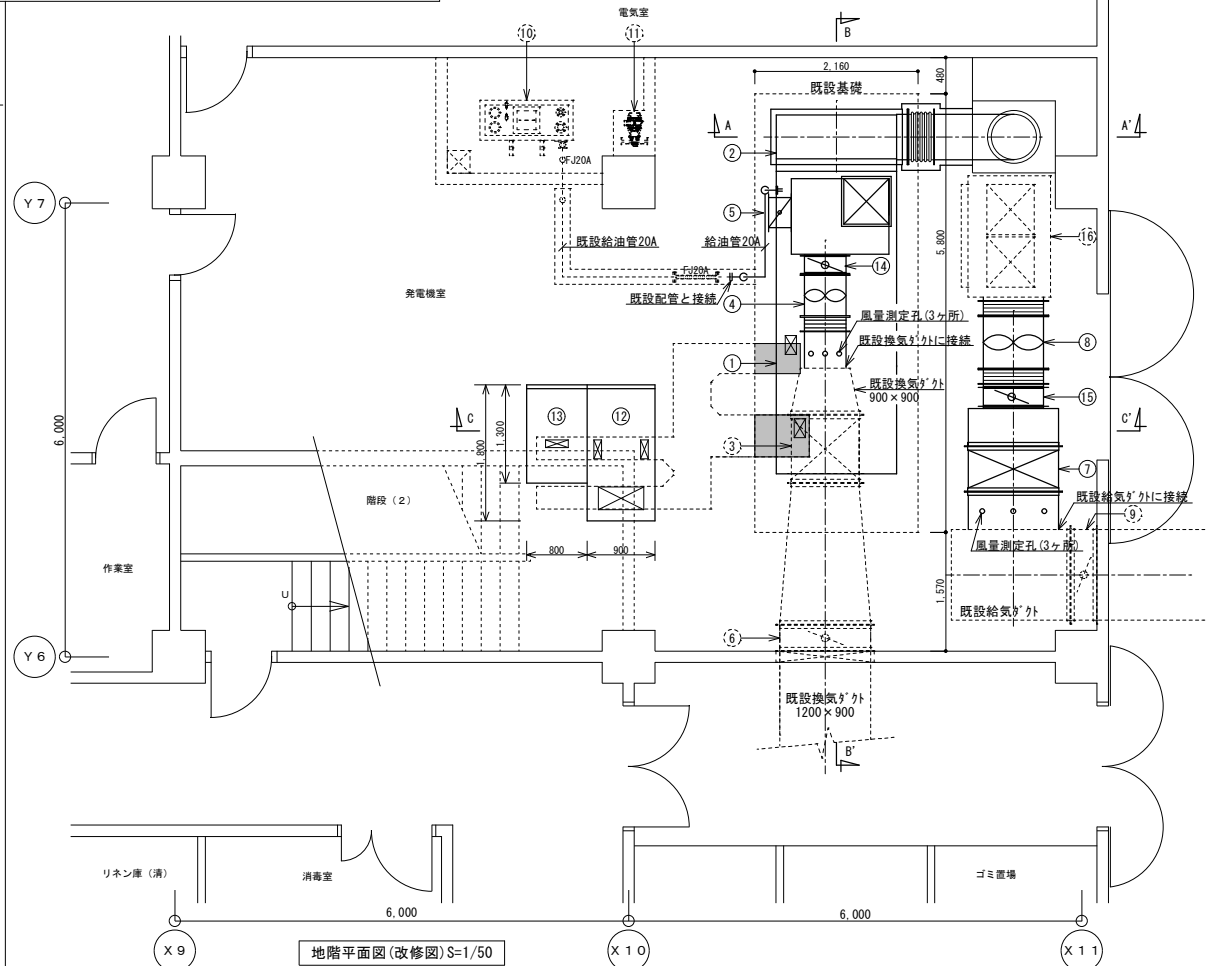
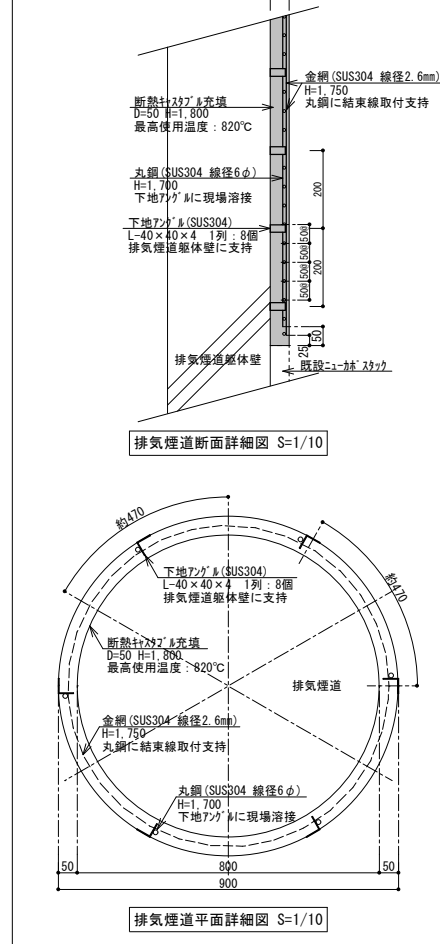
C-C' 断面図(改修図) S=1/50



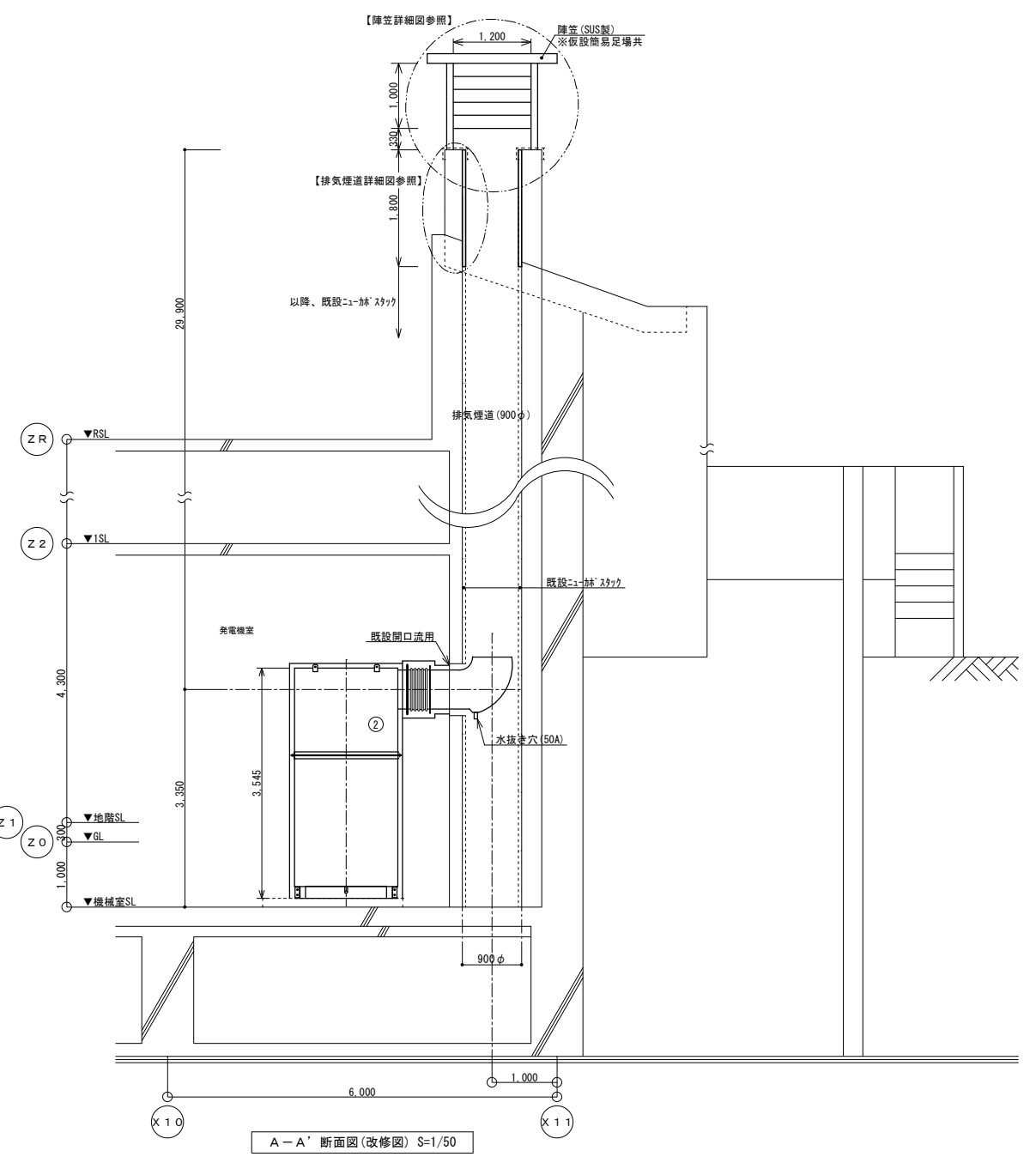
B-B' 断面図(改修図) S=1/50



寸法: 1,200×1,200×1,000h

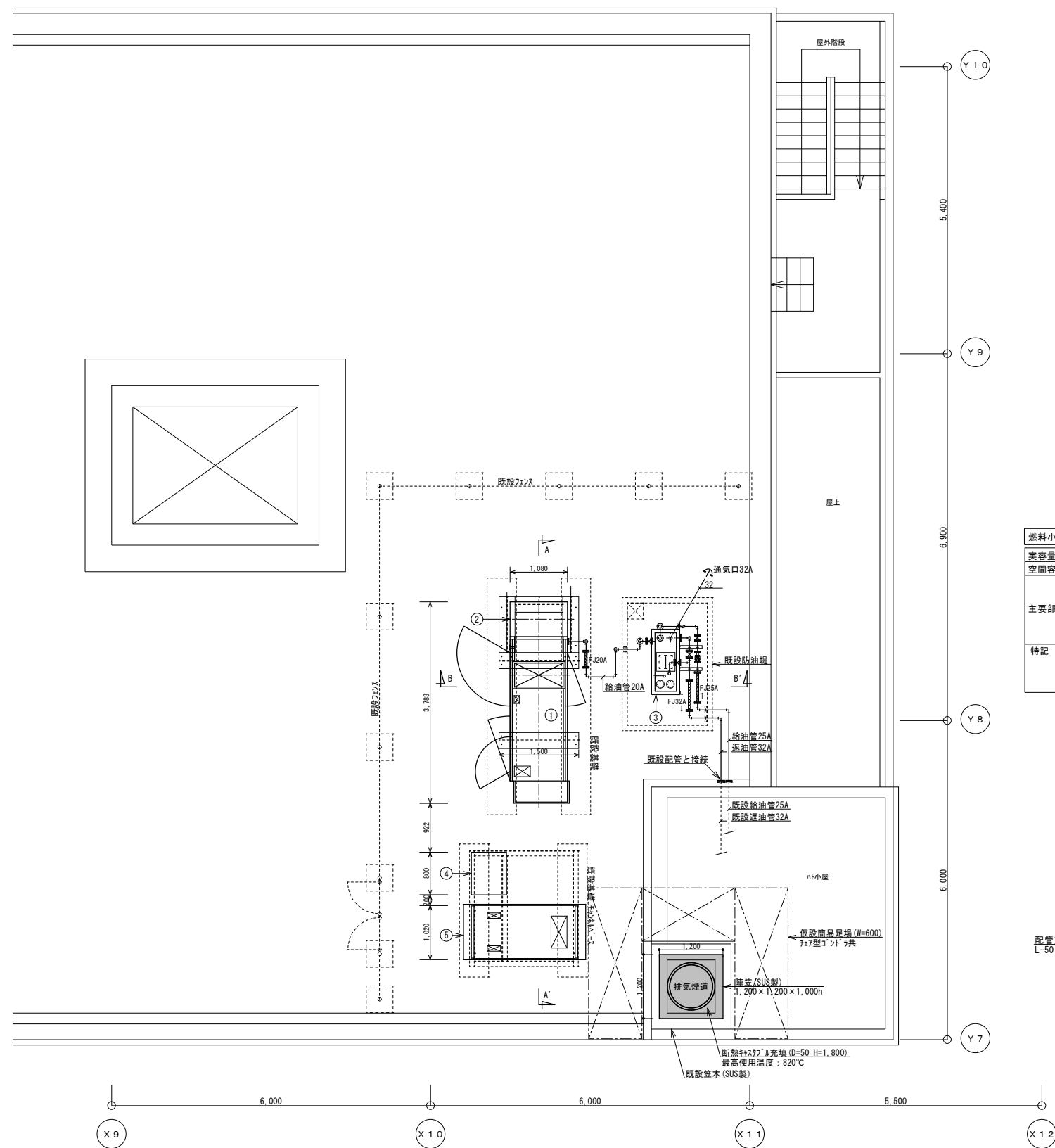


地階平面図(改修図) S=1/50



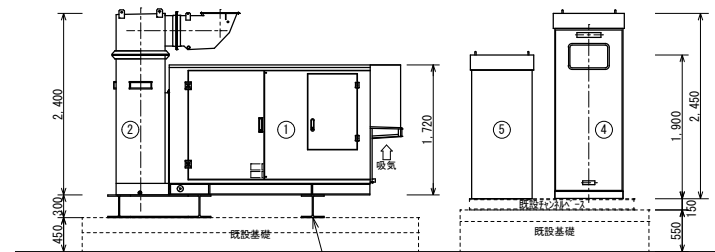
A-A' 断面図(改修図) S=1/50

〈特記事項〉

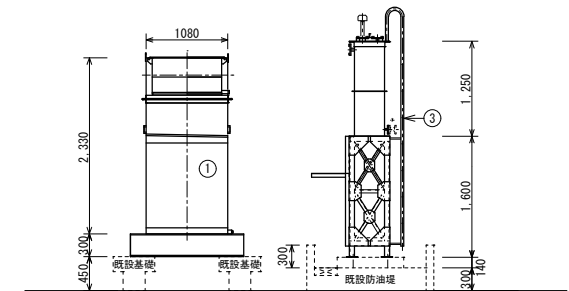


機器リスト (改修)

名称	仕様	数量	改修範囲	参考重量	備考
① ガス・ヒン発電装置	3φ 6,600V 225KVA 85dB (A)	1	新設	静荷重3730kg 動荷重4140kg	基礎既設流用
② 排気消音器	85dB (A)	1	新設	満油時840kg	防油堤既設流用
③ 燃料小出槽	490L (A重油)	1	新設	1100kg	基礎・ファンベース既設流用
④ 自動始動発電機盤	HS24V-200Ah × 12台 (始動用) HS24V-30Ah × 4台 (制御用)	各1式	蓄電池のみ更新		箱体既設流用



A-A' 断面図 (改修図) S=1/50

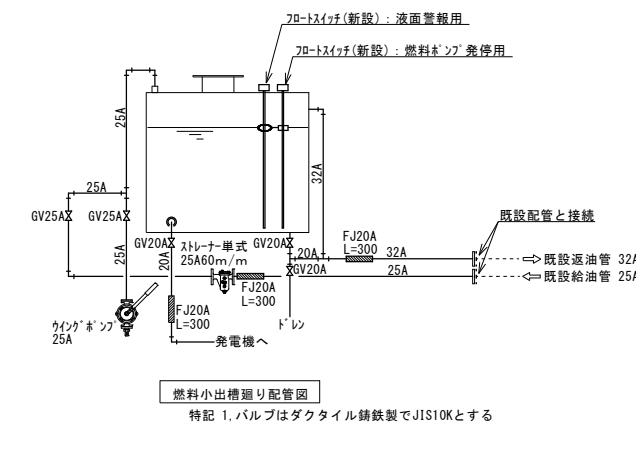
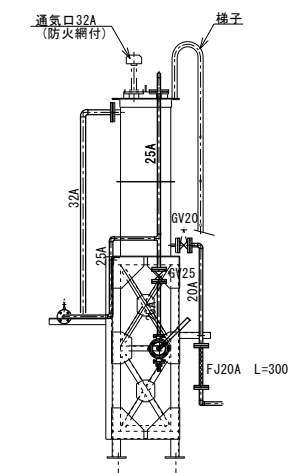
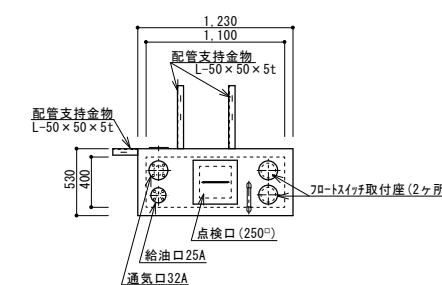
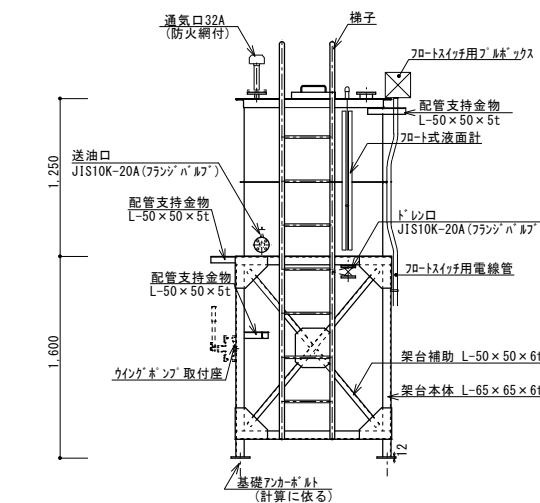
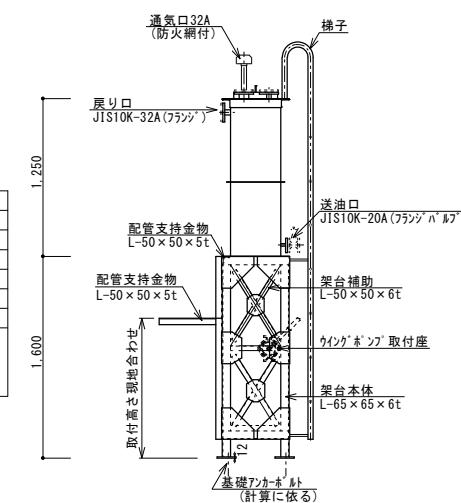


B-B' 断面図 (改修図) S=1/50

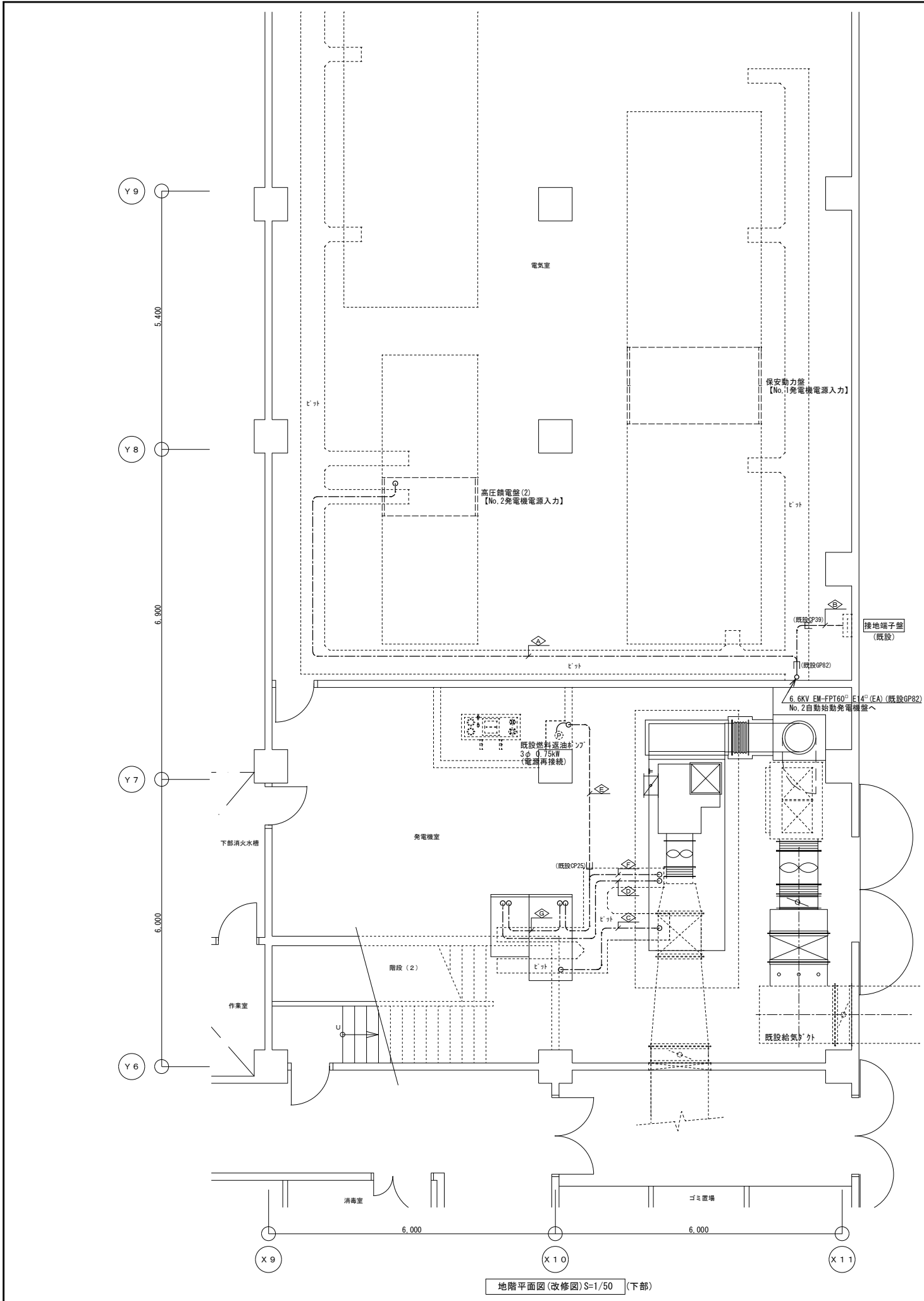
燃料小出槽仕様

実容量	490リットル
空間容積率	5/100以上 10/100以下
小出槽本体	SS400 t3.2
架台	SS400 山形鋼 65×65×t6
補助架台	SS400 山形鋼 50×50×t6
梯子	SGP25A 丸棒φ19
ステッププレート	SS400 t4.5

特記 1. 架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする
2. アンカーボルトは計算書を提出し承諾を得るものとする
3. 配管支持金物は溶接又はボルト締付とする



R階平面図 (改修図) S=1/50

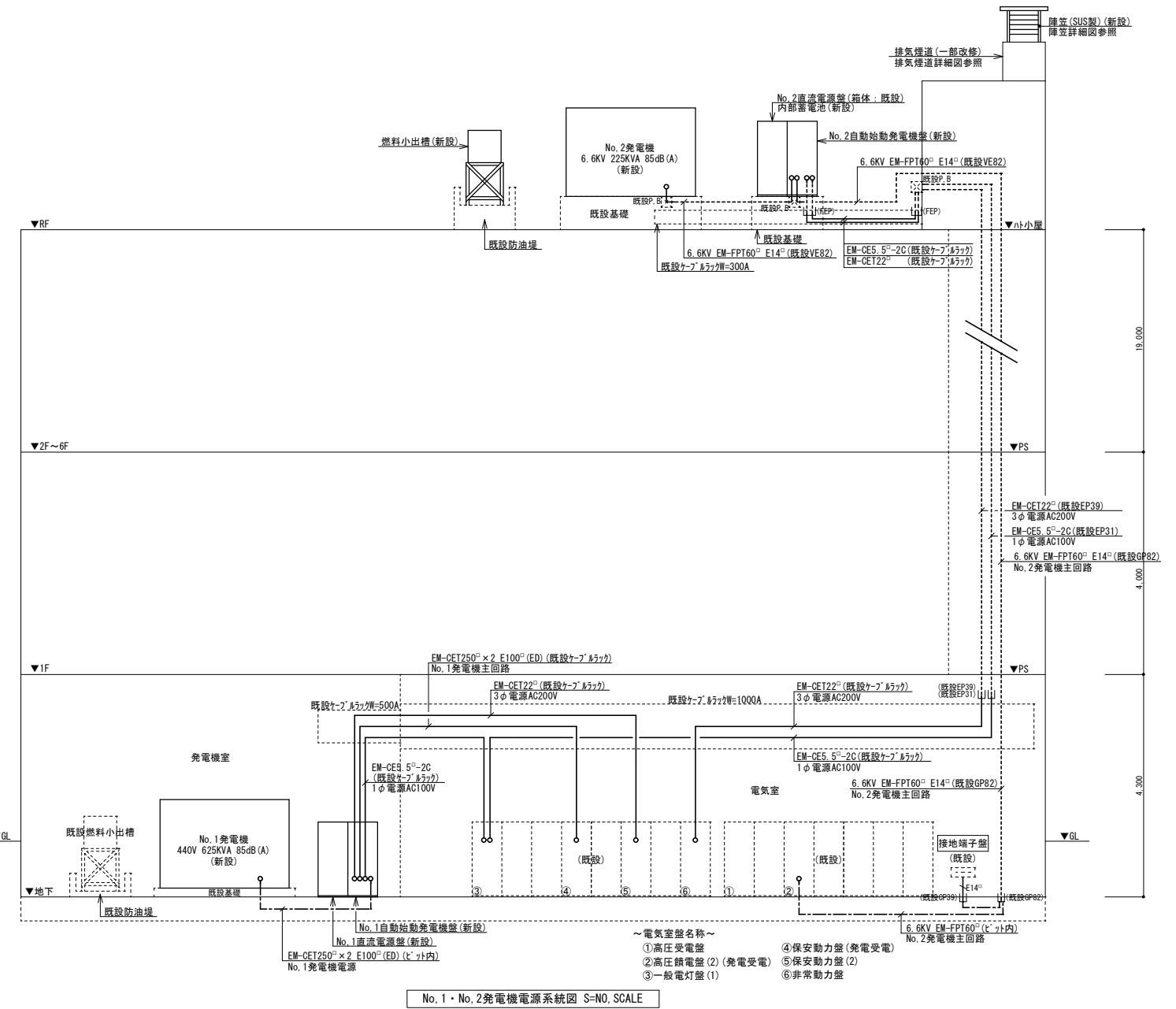


地階平面図(改修図) S=1/50 (下部)

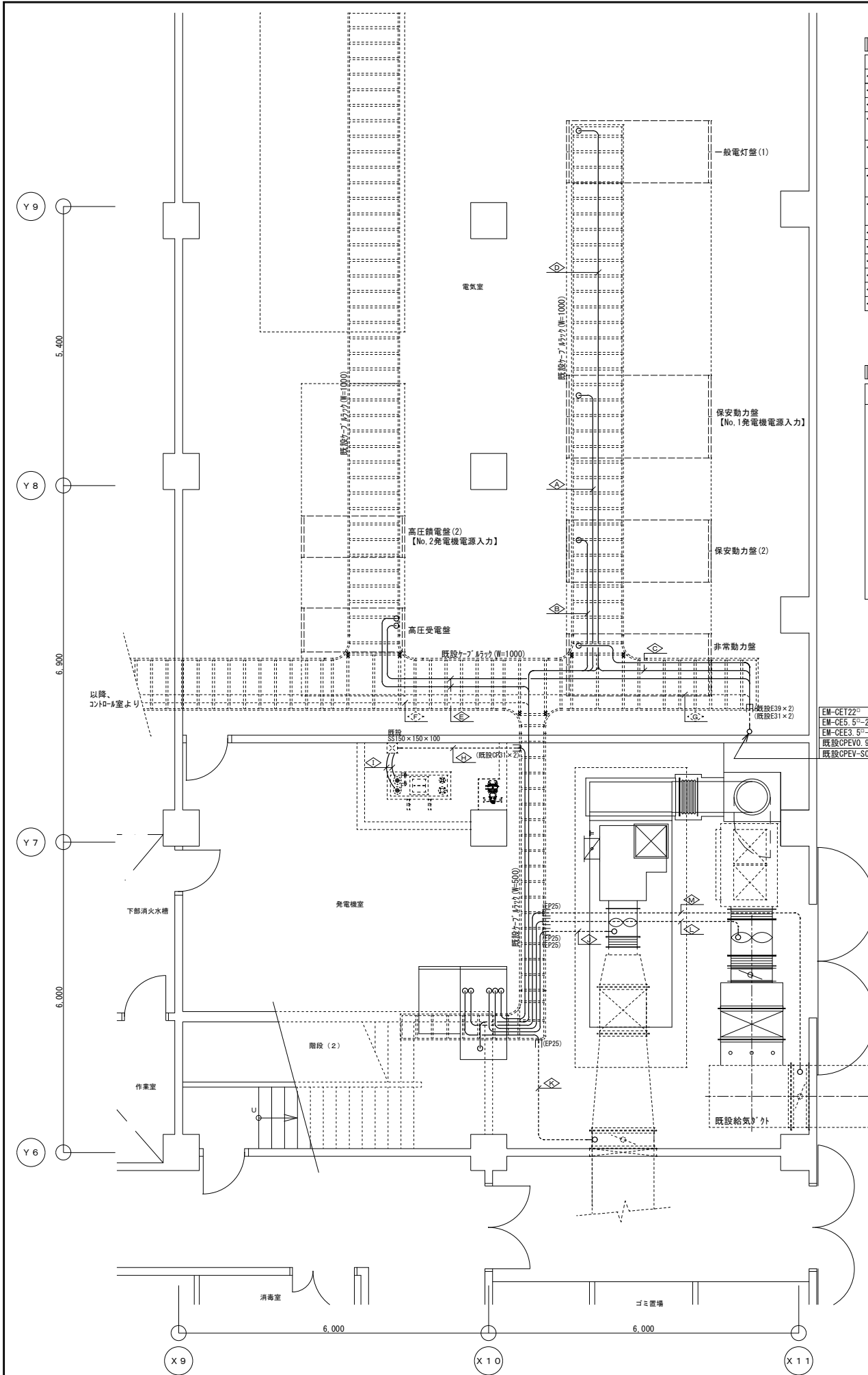
配線リスト(改修)					
配線	配管	径間	種別	改修範囲	
6.6KV EM-FPT60 ²	(既設OP82~E14 ² 内) (既設)	No.2自動始動発電機室~高圧受電室(2) 【主回路】	高圧	配線新設、配管既設流用	
EM-IE14 ² (EA)	(既設OP39~E14 ² 内) (既設)	接地端子盤~No.2自動始動発電機室 【接地】	接地	配線新設、配管既設流用	
EM-CET250 ² ×2 E100 ² (ED)	(E14 ² 内) (既設)	No.1発電機~No.1自動始動発電機室 【主回路】	低圧	新設	
EM-CE3.5 ² -2C	(E14 ² 内) (既設)	No.1発電機~No.1自動始動発電機室 【励磁電源】	低圧	新設	
EM-CE3.5 ² -2C	(E14 ² 内) (既設)	No.1発電機~No.1自動始動発電機室 【Xバーヒーター電源】	低圧	新設	
EM-CE100 ² -1C×2	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1発電機 【スター用】	低圧	新設	
EM-CE22 ² -2C	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1発電機 【始動用燃料ポンプ電源】	低圧	新設	
EM-CE3.5 ² -4C 1C:E	(既設OP25~E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~燃料運油ポンプ 【燃料運油ポンプ電源】	低圧	配線新設、配管既設流用	
EM-CE3.5 ² -3C	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1発電機 【潤滑油クーラー】	低圧	新設	
EM-CE3.5 ² -2C	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1発電機 【予ヒーター電源】	低圧	新設	
専用ケーブル	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1発電機 【エンジン制御用】	制御	新設	
EM-CE3.5 ² -2C E14 ²	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1直流電源装置 【充電電源AC200V】	低圧	新設	
EM-CE3.5 ² -2C	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1直流電源装置 【制御電源DC24V】	低圧	新設	
EM-CEE2 ² -2C	(E14 ² 内) (既設)	No.1自動始動発電機室~No.1直流電源装置 【蓄電池液面低下】	制御	新設	

記号	説明
———	配管・配線 隠ぺい・打込
-----	配管・配線 床下へ
-----	配管・配線 露出
-----	配管・配線 天井内
-----	配管・配線 地下埋設
-----	配管・配線 二重床内(OA707)
-----	配管・配線 (実線)は新設を表す
-----	配管・配線 (点線)は既設を表す

○：配管・配線立上げ・立下げ位置を表す



No.1・No.2発電機電源系統図 S=NO, SCALE



地階平面図(改修図)S-1/50 (上部)

配線リスト(改修)

記号	配線	配管	径間	種別	改修範囲
EM-CE1250 ² × 2 E14 ² (ED)	(既設ケーブル)	一般電灯	No. 1自動始動発電機室～保安動力室	【主回路】	低圧 新設
EM-CE122 ²	(既設ケーブル)	保安動力	保安動力室(2)～No. 1自動始動発電機室	【3φ電源AC200V】	低圧 新設
EM-CE122 ²	(既設ケーブル)	非常動力	非常動力室～No. 2自動始動発電機室	【3φ電源AC200V】	低圧 配線新設、配管既設流用
EM-CE5. 5 ² -2C	(既設ケーブル)	一般電灯	一般電灯(1)～No. 1自動始動発電機室	【1φ電源AC100V】	低圧 新設
EM-CE5. 5 ² -2C	(既設ケーブル)	一般電灯	一般電灯(1)～No. 2自動始動発電機室	【1φ電源AC100V】	低圧 配線新設、配管既設流用
EM-CEE3. 5 ² -2C × 2	(既設ケーブル)	高圧受電	高圧受電室～No. 1自動始動発電機室	【停電信号・インポート】	制御 新設
EM-CEE3. 5 ² -2C × 2	(既設ケーブル)	高圧受電	高圧受電室～No. 2自動始動発電機室	【停電信号・インポート】	制御 配線新設、配管既設流用
既設CPEV0. 9 ² -15P	(既設ケーブル)	コトロ室中央監視	コトロ室中央監視室～No. 1自動始動発電機室	【計測信号】	制御 既設
既設CPEV0. 9 ² -7P	(既設ケーブル)	コトロ室中央監視	コトロ室中央監視室～No. 1自動始動発電機室	【計測信号】	制御 既設
既設CPEV0. 9 ² -15P	(既設ケーブル)	コトロ室中央監視	コトロ室中央監視室～No. 2自動始動発電機室	【計測信号】	制御 既設
既設CPEV0. 9 ² -7P	(既設ケーブル)	コトロ室中央監視	コトロ室中央監視室～No. 2自動始動発電機室	【計測信号】	制御 既設
EM-CEE2 ² -4C × 2	(既設ケーブル)	燃料小出槽	No. 1自動始動発電機室～燃料小出槽	【7φ停止信号】	制御 配線新設、配管既設流用
EM-CEE2 ² -4C × 2	(ケーブル露出)	燃料小出槽	No. 1自動始動発電機室～燃料小出槽	【7φ停止信号】	制御 新設
EM-CE3. 5 ² -4C 1C:E	(既設ケーブル)	換気ファン	No. 1自動始動発電機室～換気ファン	【換気ファン電源】	低圧 配線・配管共新設
EM-CEE2 ² -2C	(既設ケーブル)	換気ファン	No. 1自動始動発電機室～換気ファン	【換気ファン電源】	低圧 配線・配管共新設
EM-CE3. 5 ² -4C 1C:E	(既設ケーブル)	換気ファン	No. 1自動始動発電機室～換気ファン	【換気ファン電源】	低圧 配線・配管共新設
EM-CEE2 ² -2C	(既設ケーブル)	換気ファン	No. 1自動始動発電機室～換気ファン	【換気ファン電源】	低圧 配線・配管共新設

・燃料移送ケーブル信号線、Hφ/放出信号線、DC100V電源線、状態・故障・計測信号線は、既設流用とし再接続とすること
(室内端子台取付位置はケーブル長を十分考慮の上、配管・製作すること)

照明器具表

・光源色は昼白色(5000K)とする
・姿勢は参考とする

A LED² 3灯付(HF32形-2灯相当) 光束4950lm以上

●本体：鋼板(白色) 【設置場所】
●ライトバー：樹脂製(白色) ・地階発電機室
●反射笠付
●電圧：100～242V

EM-CE122² (既設E30) 3φ電源
EM-CE5. 5²-2C (既設E31) 1φ電源
EM-CEE3. 5²-2C × 2 (既設E31) 停電信号・インポート
既設CPEV0. 9²-15P (既設E30) 状態、故障信号
既設CPEV0. 9²-7P (既設E30) 計測信号
No. 2自動始動発電機室へ

機器凡例表(改修)

記号	名称	仕様	備考
□	接地端子盤	壁掛型・銅板製	既設
△	ケーブル架	傍記とする	既設
○	電動機(ポンプ)	燃料返油用	既設
◇	電機	3P	既設
○	照明器具	FL40W-2灯 天井直付型	新設 照明図参照
○	照明器具(発電機回路)	FL40W-2灯 天井直付型	新設 照明図参照
○	照明器具	FL40W-2灯 天井直付型	既設
○	照明器具(発電機回路)	FL40W-2灯 天井直付型	既設
●	埋込ケーブルスイッチ	1P15A × 1	既設
□	ジャンクションボックス	レール式(用)	再取付
○	ジャンクションボックス	レール式(用)	既設

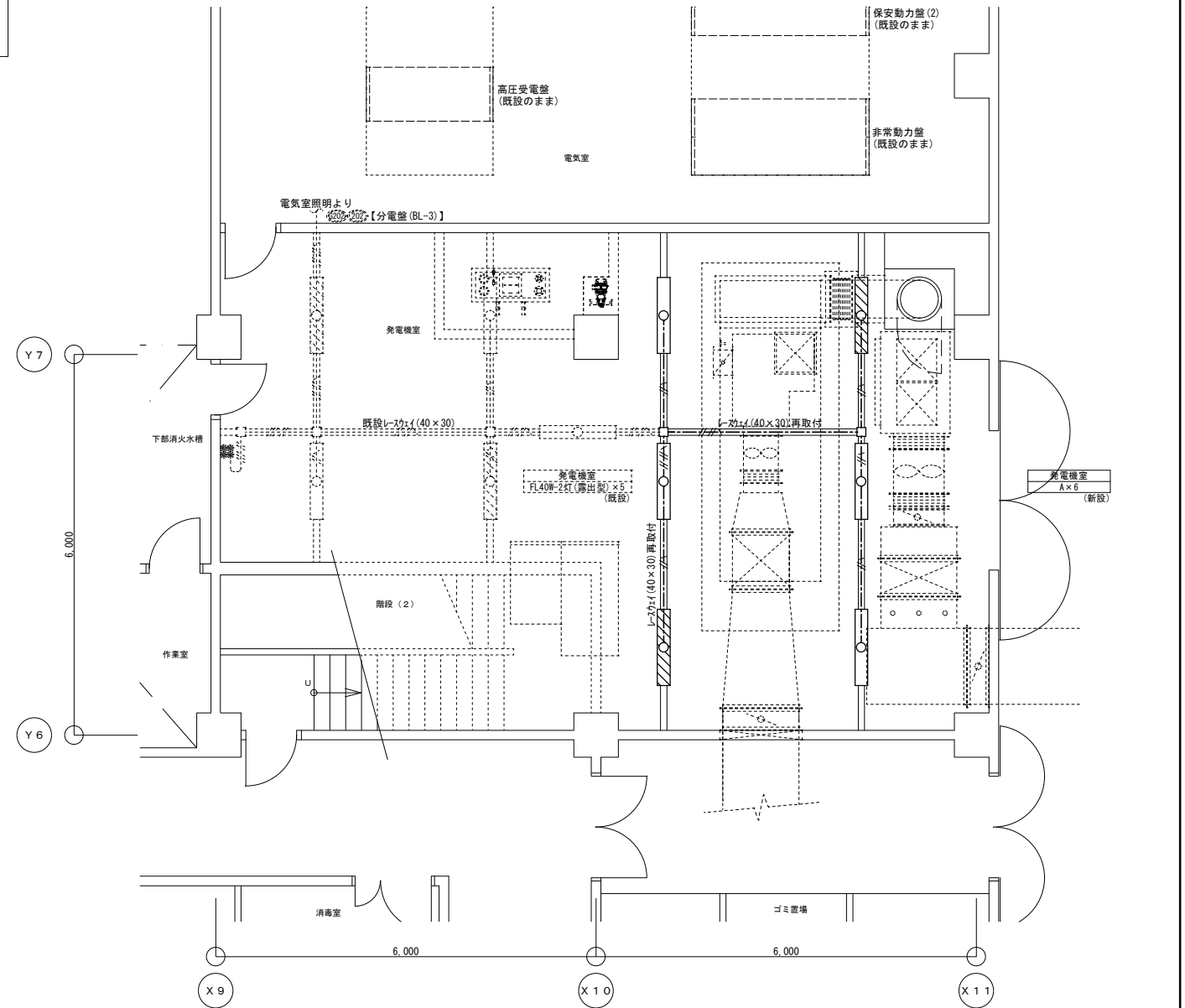
・図中大線(実線)は新設を表す
・図中細線(点線)は既設を表す

配線表(改修)

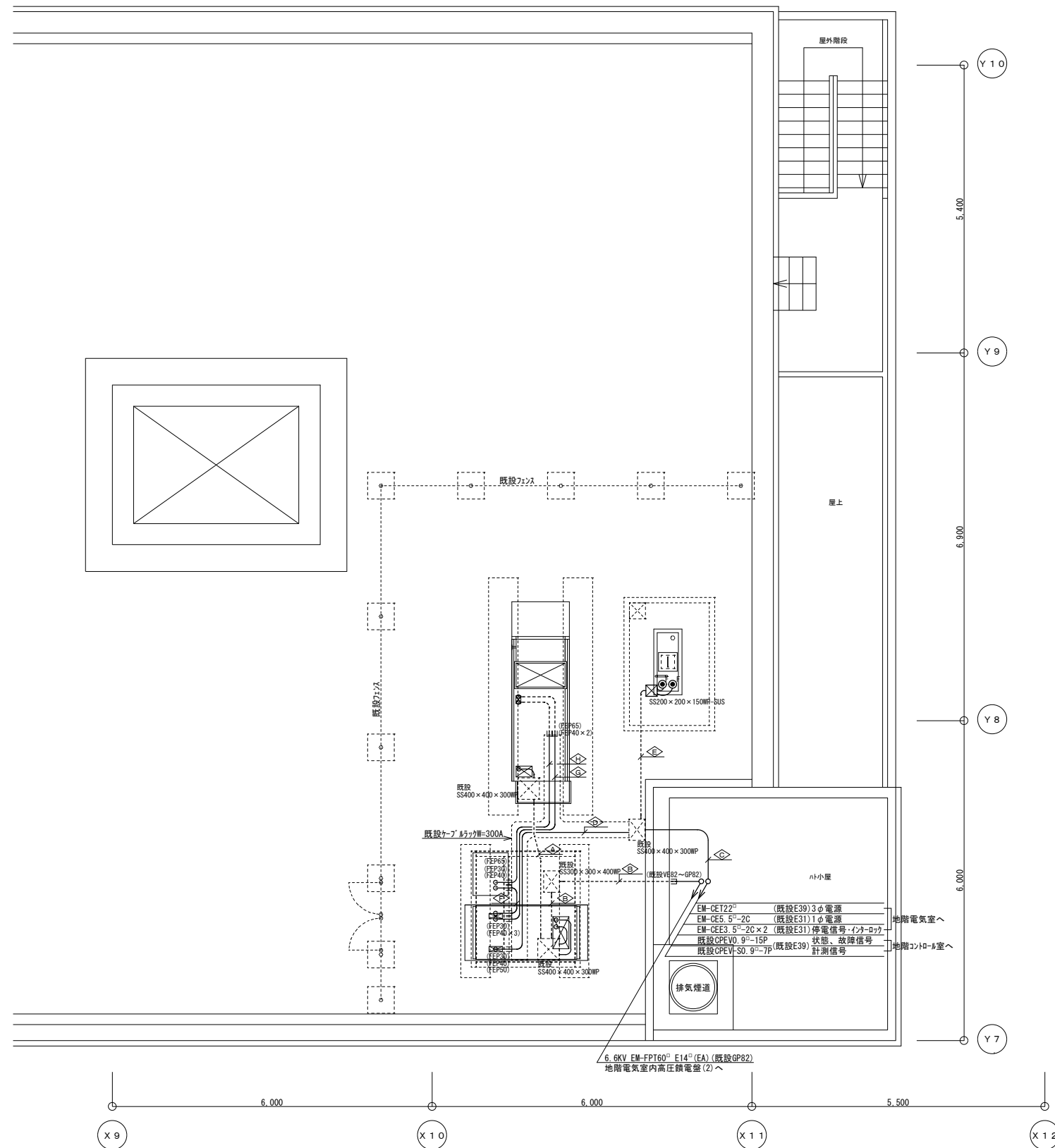
記号	名称	保護管	備考
—	EM-IE1. 6 × 3	(レール式)(40 × 30)	配管・配線 隠ぺい・打込
—	EM-IE1. 6 × 2 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	配管・配線 床隠ぺい
—	EM-IE1. 6 × 4 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	配管・配線 露出
—	EM-IE1. 6 × 4 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	配管・配線 天井内こらし
—	EM-IE1. 6 × 4 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	配管・配線 地中埋設
—	EM-IE1. 6 × 4 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	配管・配線 二重床内(OA707)
—	EM-IE1. 6 × 4 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	図中大線(実線)は新設を表す
—	EM-IE1. 6 × 4 E1. 6	(レール式)(40 × 30)	図中細線(点線)は既設を表す

・レール式は既設再取付とし配線は新設とする

○：配管・配線立上げ・立下げ位置を表す
●：1φ200V回路(発電機)を示す
◎：1φ200V回路(商用)を示す



地階平面図(改修図)S-1/50 (電灯設備)



R階平面図 (改修図) S=1/50

配線リスト (改修)

記号	配線	配管	径間	種別	改修範囲
◇	6.6KV EM-FPT60 ² E14 ² (EA)	(既設VE82)	No.2発電機~No.2自動始動発電機盤 【主回路】	高圧	配線新設、配管既設流用
	EM-CE3 5 ² -2C	(VE36)	No.2発電機~No.2自動始動発電機盤 【励磁電源】	低圧	配線・配管共新設
	EM-CE3 5 ² -2C		No.2発電機~No.2自動始動発電機盤 【スペースヒーター電源】	低圧	配線・配管共新設
◇	6.6KV EM-FPT60 ² E14 ² (EA)	(既設VE82)	No.2自動始動発電機盤~高圧饋電盤 (2) 【主回路】	高圧	配線新設、配管既設流用
	EM-CET22 ²	(既設E39)	非常動力盤~No.2自動始動発電機盤 【3φ電源AC200V】	低圧	配線新設、配管既設流用
	EM-CE5 5 ² -2C	(既設E31)	一般電灯盤 (1)~No.2自動始動発電機盤 【1φ電源AC100V】	低圧	配線新設、配管既設流用
	EM-CEE3 5 ² -2C×2	(既設E31)	高圧受電盤~No.2自動始動発電機盤 【停電信号・インターロック】	制御	配線新設、配管既設流用
	既設CPEVO 9 ² -15P	(既設E39)	コントロール室中央監視盤~No.2自動始動発電機盤 【状態・故障信号】	制御	既設
	既設CPEV-S0 9 ² -7P	(既設E39)	コントロール室中央監視盤~No.2自動始動発電機盤 【計測信号】	制御	既設
◇	EM-CET22 ²	(既設ケーブル~既設FEP40)	非常動力盤~No.2自動始動発電機盤 【3φ電源AC200V】	低圧	配線・配管共新設
	EM-CE5 5 ² -2C	(既設ケーブル~既設FEP30)	一般電灯盤 (1)~No.2自動始動発電機盤 【1φ電源AC100V】	低圧	配線・配管共新設
	EM-CEE3 5 ² -2C×2	(既設ケーブル~既設FEP50)	高圧受電盤~No.2自動始動発電機盤 【停電信号・インターロック】	制御	配線・配管共新設
	EM-CEE2 ² -3C×2		No.2自動始動発電機盤~燃料小出槽 【70°トランスフィ信号】	制御	配線・配管共新設
	EM-CEE2 ² -2C×2		No.2自動始動発電機盤~燃料小出槽 【温度スイッチ信号】	制御	配線・配管共新設
	既設CPEVO 9 ² -15P	(既設ケーブル~既設FEP)	コントロール室中央監視盤~No.2自動始動発電機盤 【状態・故障信号】	制御	既設
	既設CPEV-S0 9 ² -7P	(既設ケーブル~既設FEP)	コントロール室中央監視盤~No.2自動始動発電機盤 【計測信号】	制御	既設
◇	EM-CEE2 ² -3C×2	(VE36)	No.2自動始動発電機盤~燃料小出槽 【70°トランスフィ信号】	制御	配線・配管共新設
	EM-CEE2 ² -2C×2		No.2自動始動発電機盤~燃料小出槽 【温度スイッチ信号】	制御	配線・配管共新設
◇	EM-CE5 5 ² -1C	(既設ケーブル~既設FEP30)	No.2自動始動発電機盤~No.2直流電源装置 【スタート停電信号】	制御	配線・配管共新設
	EM-CEE2 ² -2C		No.2自動始動発電機盤~No.2直流電源装置 【蓄電池液面低下】	制御	配線・配管共新設
	EM-CE3 5 ² -3C	(既設ケーブル~既設FEP40)	No.2自動始動発電機盤~No.2直流電源装置 【充電電源AC200V】	低圧	配線・配管共新設
	EM-CE3 5 ² -2C E14 ²		No.2自動始動発電機盤~No.2直流電源装置 【制御電源DC24V】	低圧	配線・配管共新設
◇	EM-CE3 5 ² -3C	(既設ケーブル~既設FEP40)	No.2自動始動発電機盤~No.2発電機 【潤滑油クーラファン】	低圧	配線・配管共新設
	EM-CE3 5 ² -2C		No.2自動始動発電機盤~No.2発電機 【ヒーター電源】	低圧	配線・配管共新設
	EM-CE3 5 ² -1C	(既設ケーブル~既設FEP40)	No.2自動始動発電機盤~No.2発電機 【始動用電動機始動信号】	制御	配線・配管共新設
	専用ケーブル		No.2自動始動発電機盤~No.2発電機 【シフト制御用】	制御	配線・配管共新設
◇	EM-CE100 ² -1C×2	(既設ケーブル~既設FEP65)	No.2自動始動発電機盤~No.2発電機 【スタート用】	低圧	配線・配管共新設

・燃料移送ポンプ信号線、状態・故障・計測信号線は、既設流用とし再接線とすること
 (盤内端子台取付位置はケーブル余長を十分考慮の上、配置・製作すること)

機器凡例表 (改修)

記号	名称	仕様	備考
□	パネルボックス	傍記とする	新設
□	パネルボックス	傍記とする	既設
⊙	電極	3P	新設

・図中大線(実線)は新設を表す
 ・図中細線(点線)は既設を表す

線種	内容
———	配管・配線 隠ぺい・打込
- - - - -	配管・配線 床隠ぺい
⋯⋯⋯	配管・配線 露出
⋯⋯⋯	配管・配線 天井内ころがし
⋯⋯⋯	配管・配線 地中埋設
⋯⋯⋯	配管・配線 二重床内 (0A707)
———	・図中大線(実線)は新設を表す
⋯⋯⋯	・図中細線(点線)は既設を表す

○ : 配管立上げ・立下げ位置を表す

高圧引込
3φ3W 6,600V 60Hz

仮設特記事項

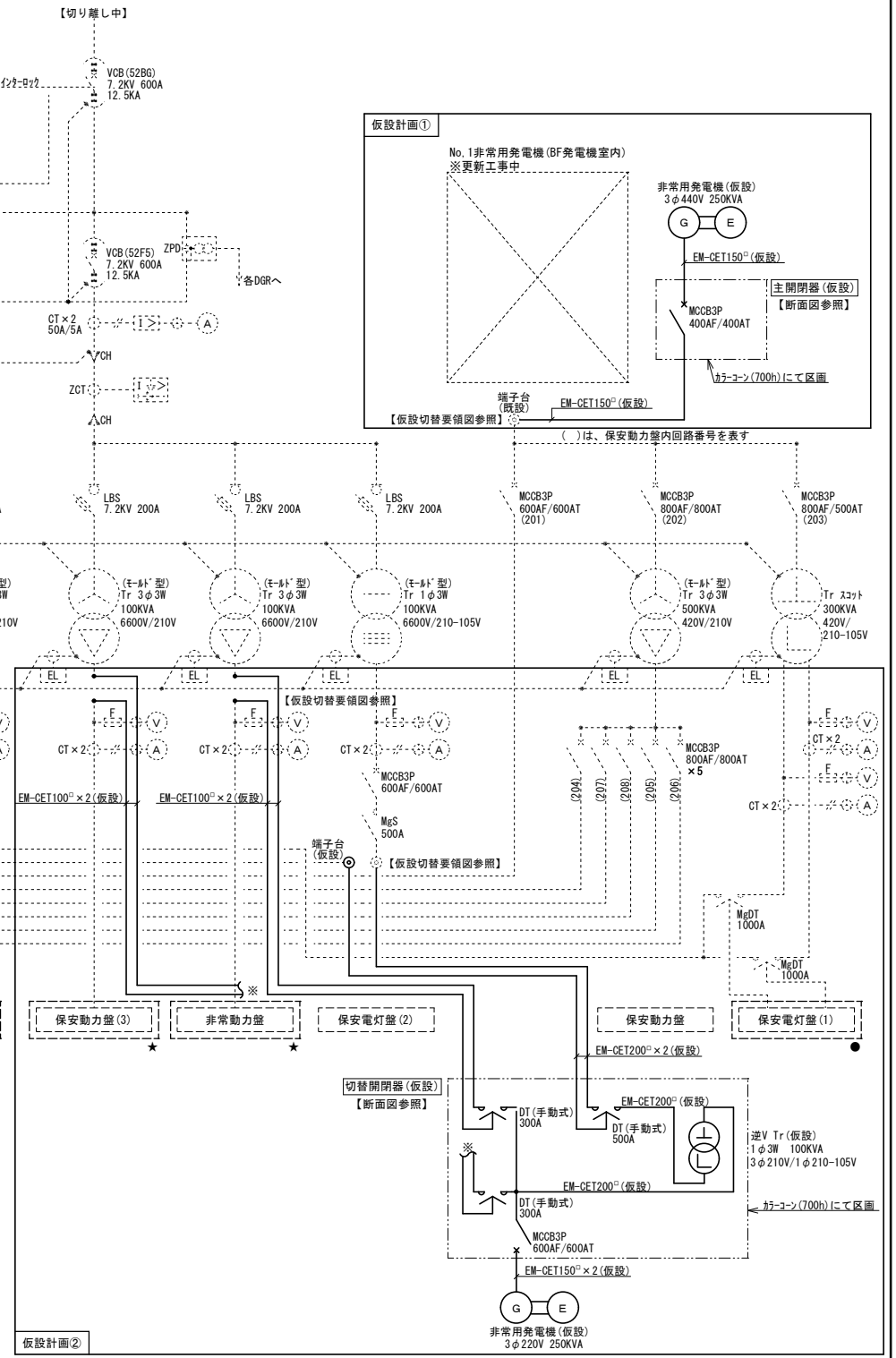
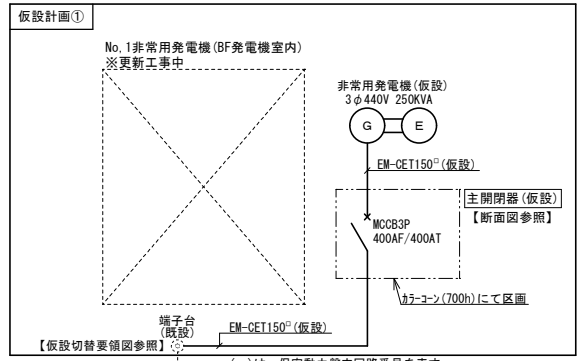
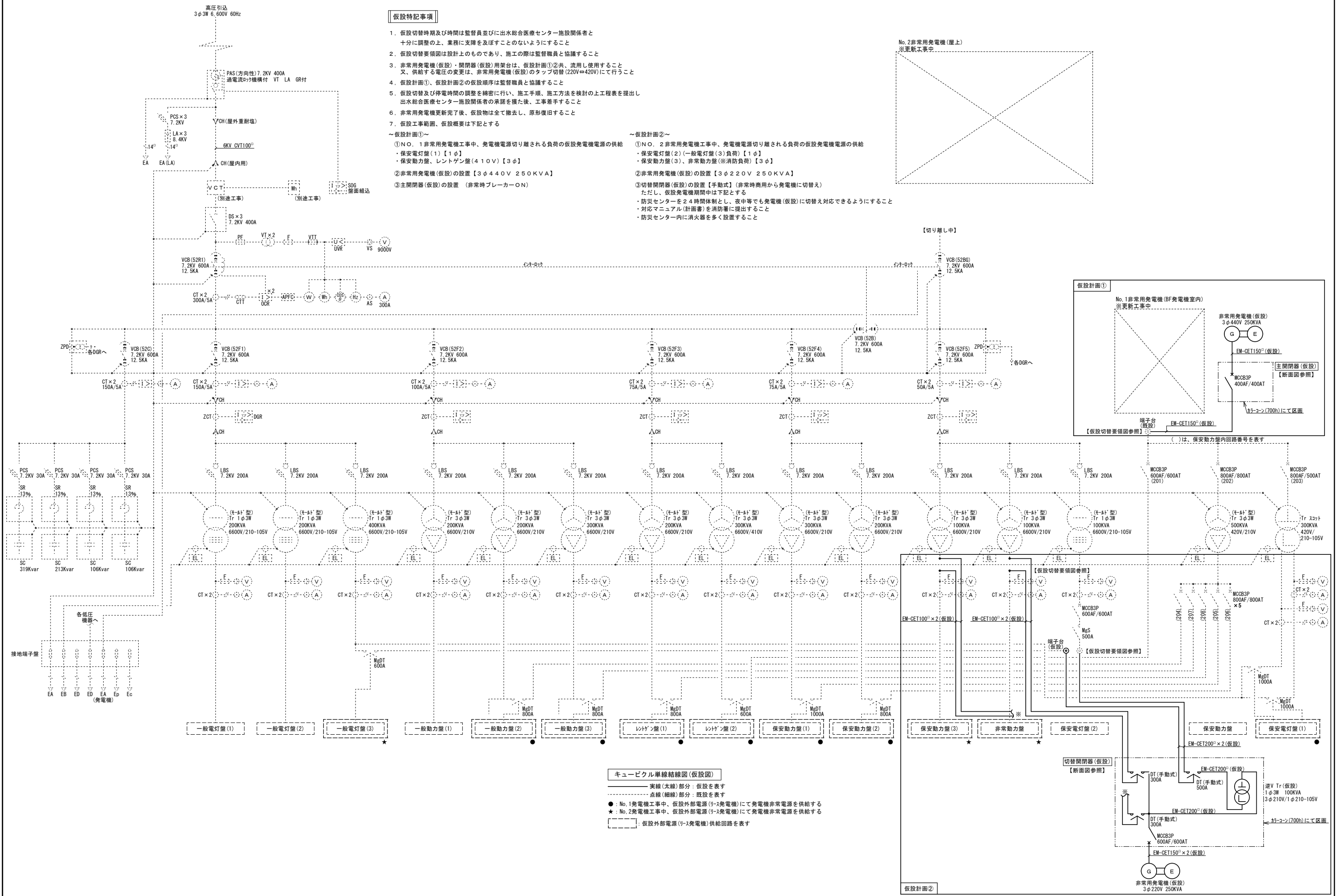
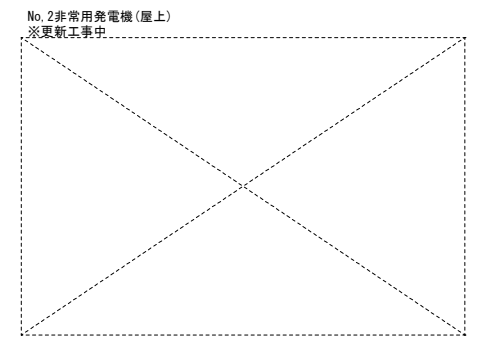
1. 仮設切替時期及び時間は監督員並びに出水総合医療センター施設関係者と十分に調整の上、業務に支障を及ぼすことのないようにすること
2. 仮設切替要領図は設計上のものであり、施工の際は監督職員と協議すること
3. 非常用発電機(仮設)・開閉器(仮設)用架台は、仮設計画①②共、流用し使用すること。又、供給する電圧の変更は、非常用発電機(仮設)のタップ切替(220V⇄420V)にて行うこと
4. 仮設計画①、仮設計画②の仮設順序は監督職員と協議すること
5. 仮設切替及び停電時間の調整を精密に行い、施工手順、施工方法を検討の上工程表を提出し、出水総合医療センター施設関係者の承諾を獲た後、工事着手すること
6. 非常用発電機更新完了後、仮設物は全て撤去し、原形復旧すること
7. 仮設工事範囲、仮設概要は下記とする

～仮設計画①～

- ① No. 1非常用発電機更新中、発電機電源切り離される負荷の仮設発電機電源の供給
 - ・保安電灯盤(1)【1φ】
 - ・保安動力盤、レントゲン盤(410V)【3φ】
- ②非常用発電機(仮設)の設置【3φ440V 250KVA】
- ③主開閉器(仮設)の設置 (非常時ブレーカーON)

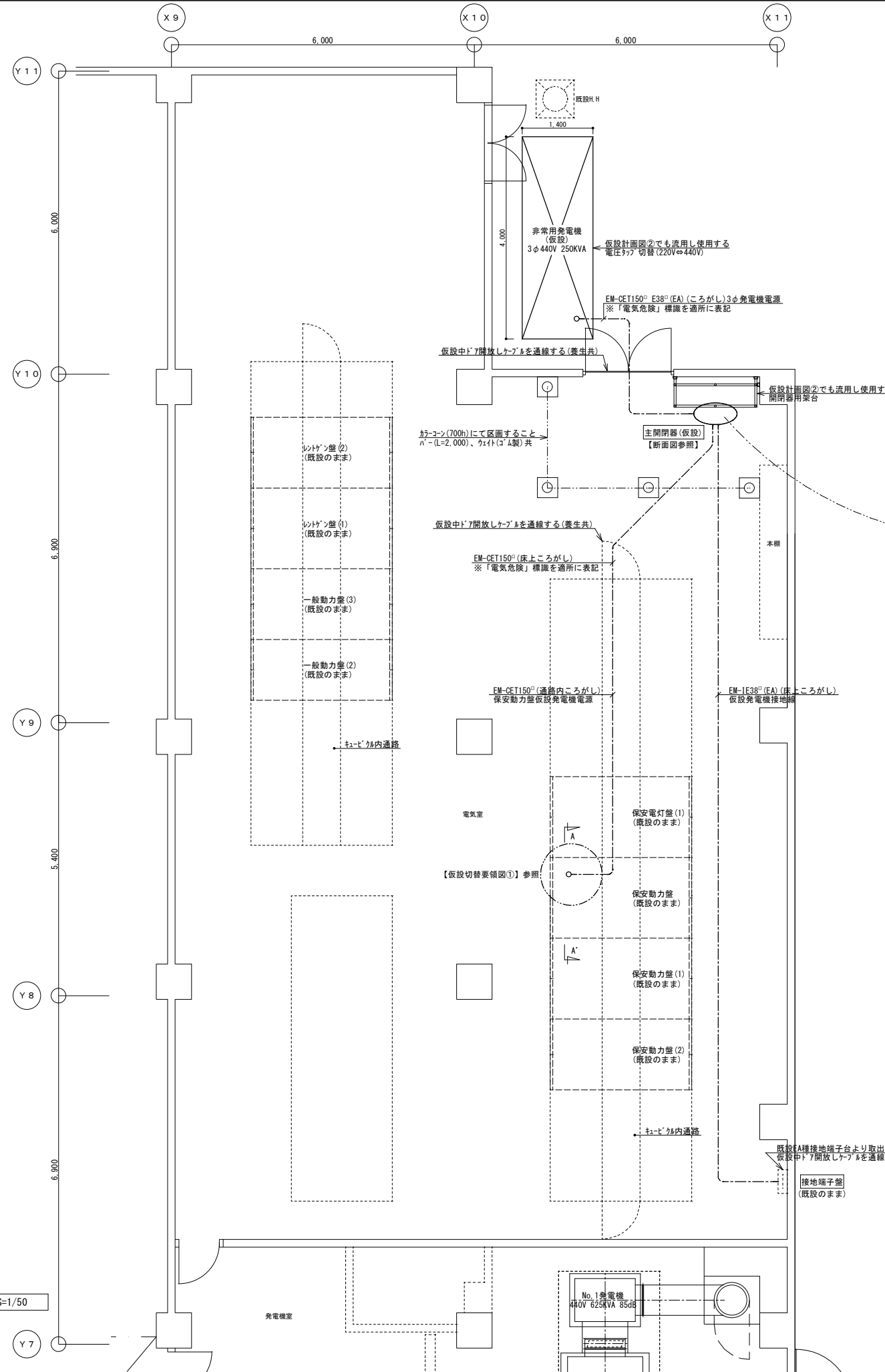
～仮設計画②～

- ① No. 2非常用発電機更新中、発電機電源切り離される負荷の仮設発電機電源の供給
 - ・保安電灯盤(2) (一般電灯盤(3)負荷)【1φ】
 - ・保安動力盤(3)、非常動力盤(※消防負荷)【3φ】
- ②非常用発電機(仮設)の設置【3φ220V 250KVA】
- ③切替開閉器(仮設)の設置【手動式】(非常時商用から発電機に切替え)
 - ただし、仮設発電機期間中は下記とする
 - ・防災センターを24時間体制とし、夜中等でも発電機(仮設)に切替え対応できるようにすること
 - ・対応マニュアル(計画書)を消防署に提出すること
 - ・防災センター内に消火器を多く設置すること

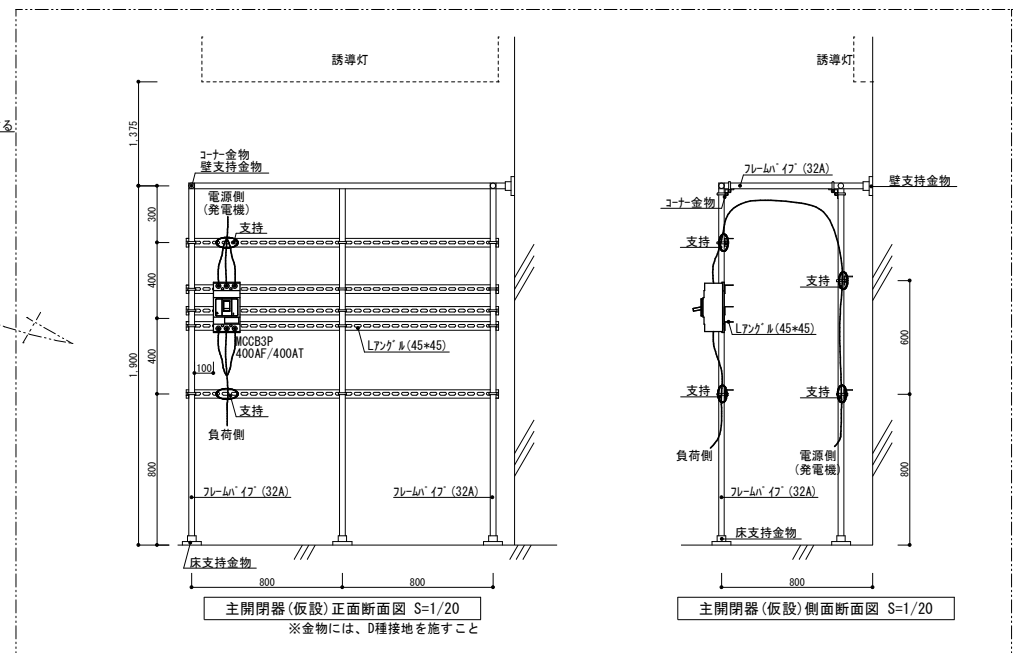
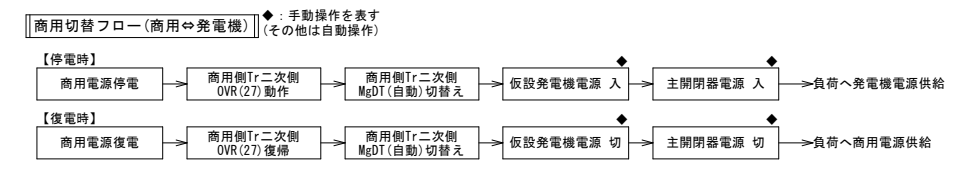


キュービクル単線結線図(仮設図)

- 実線(太線)部分: 仮設を表す
- - - 点線(細線)部分: 既設を表す
- : No. 1発電機更新中、仮設外部電源(リ-3発電機)にて発電機非常電源を供給する
- ★: No. 2発電機更新中、仮設外部電源(リ-3発電機)にて発電機非常電源を供給する
- : 仮設外部電源(リ-3発電機)供給回路を表す

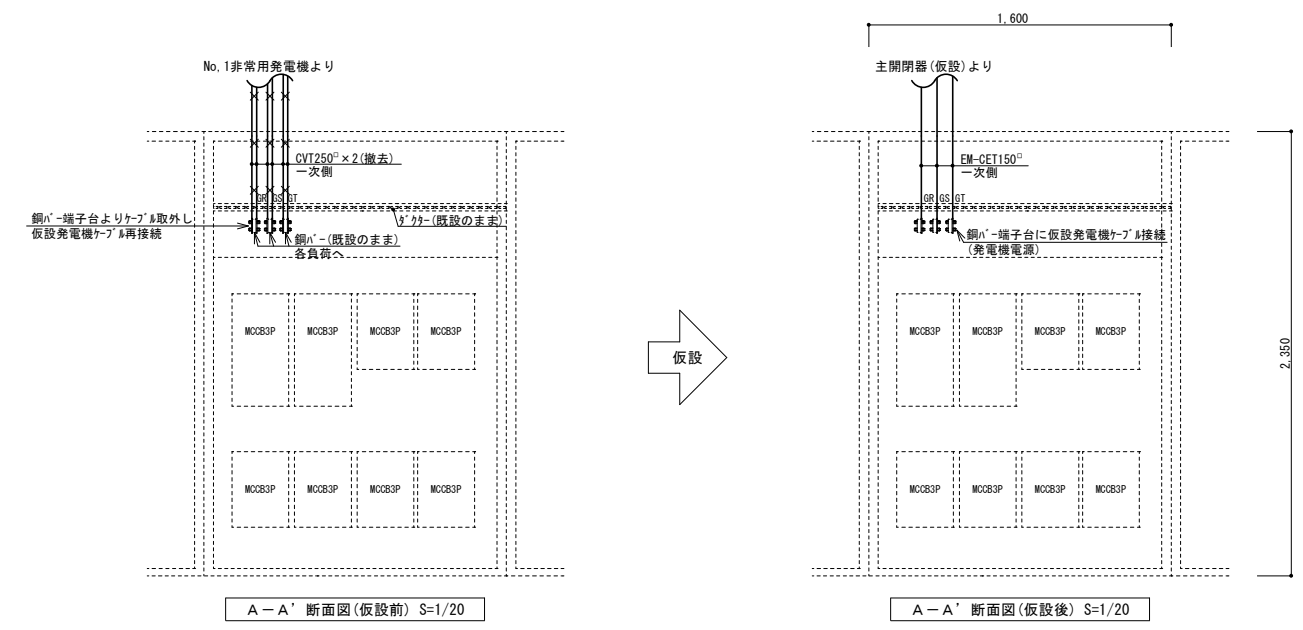


———	配管・配線	隠ぺい・打込
- - - - -	配管・配線	床隠ぺい
⋯⋯⋯	配管・配線	露出
⋯⋯⋯	配管・配線	ころがし
⋯⋯⋯	配管・配線	地中埋設
⋯⋯⋯	配管・配線	二重床内 (0A707)
———	○	図中太線 (実線) は新設 (仮設) を表す
⋯⋯⋯	○	図中細線 (点線) は既設を表す

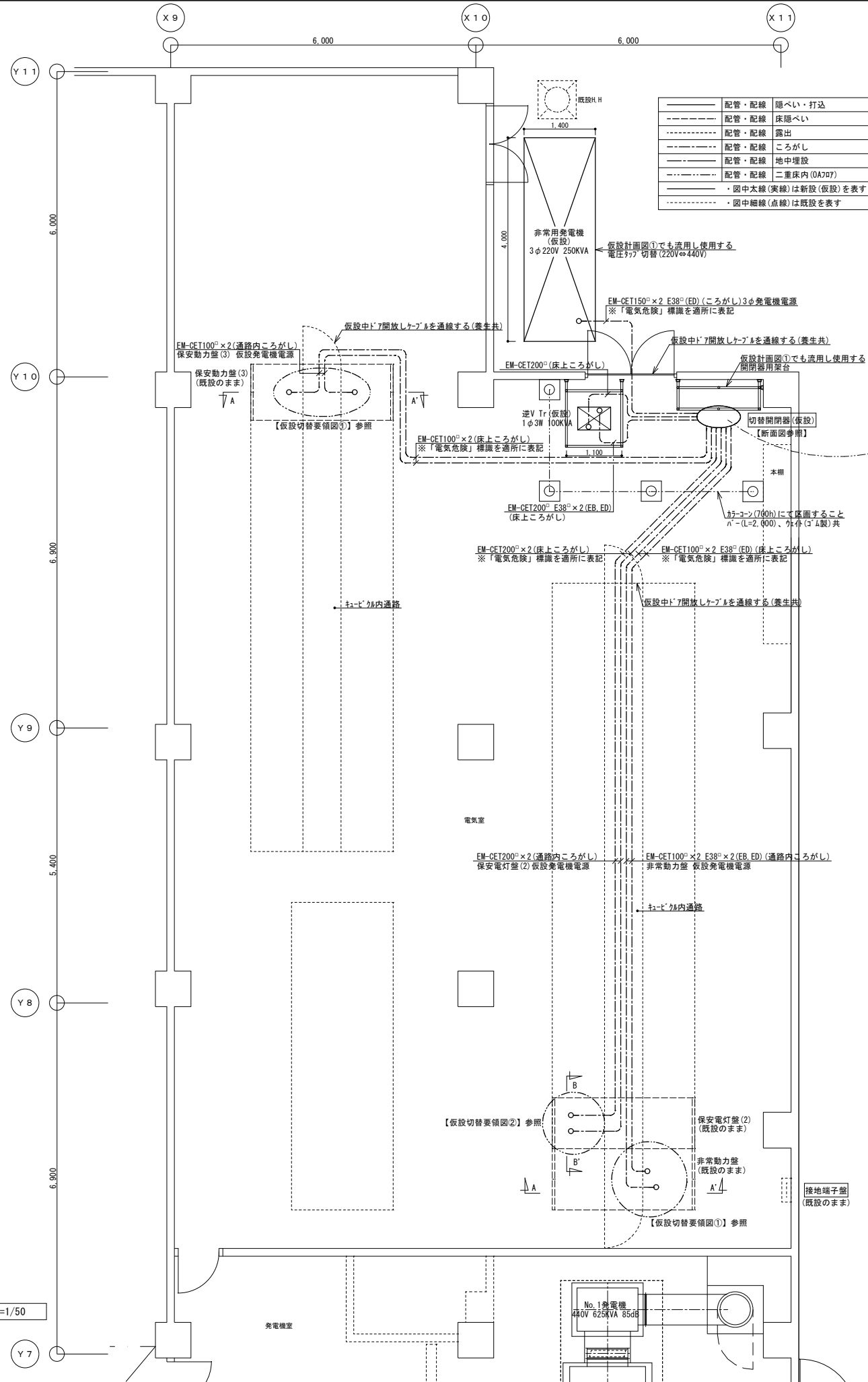


仮設切替要領図① 【保安動力盤】

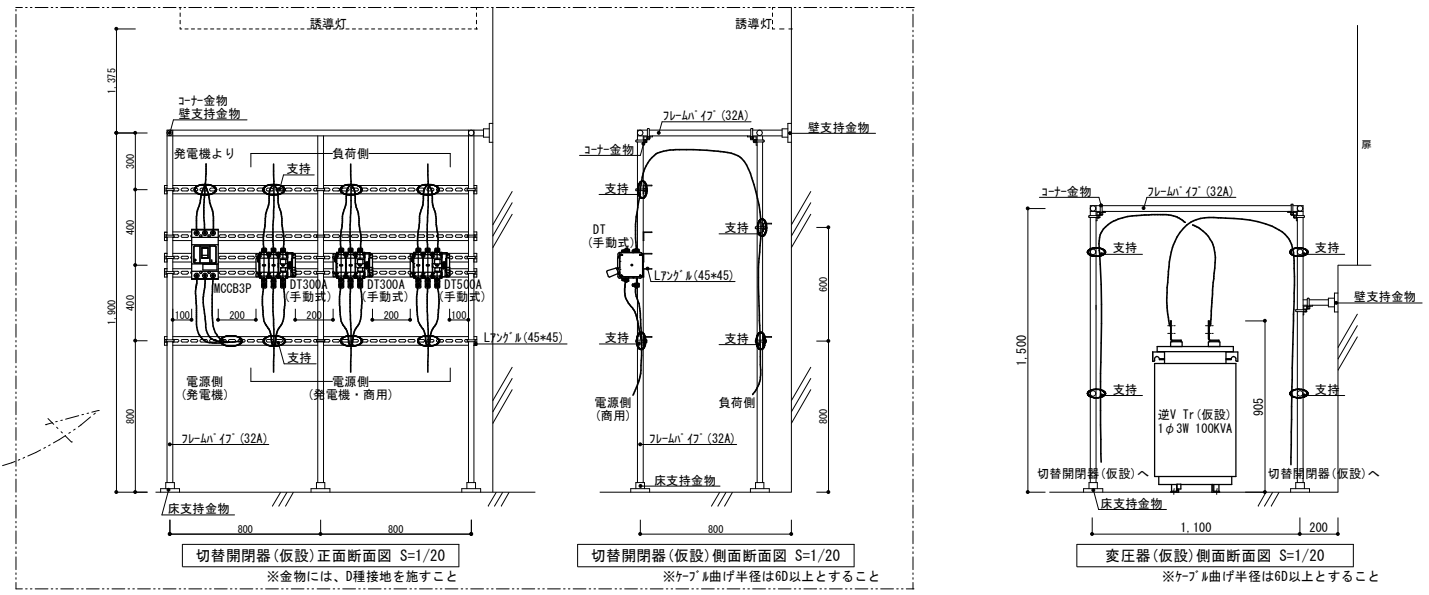
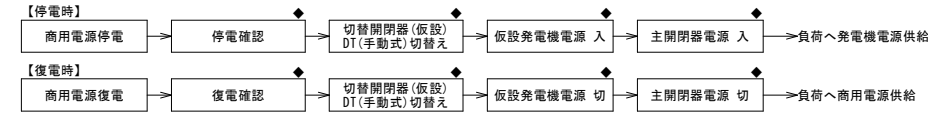
※復電後に動作確認を行うこと



仮設計画図① S=1/50

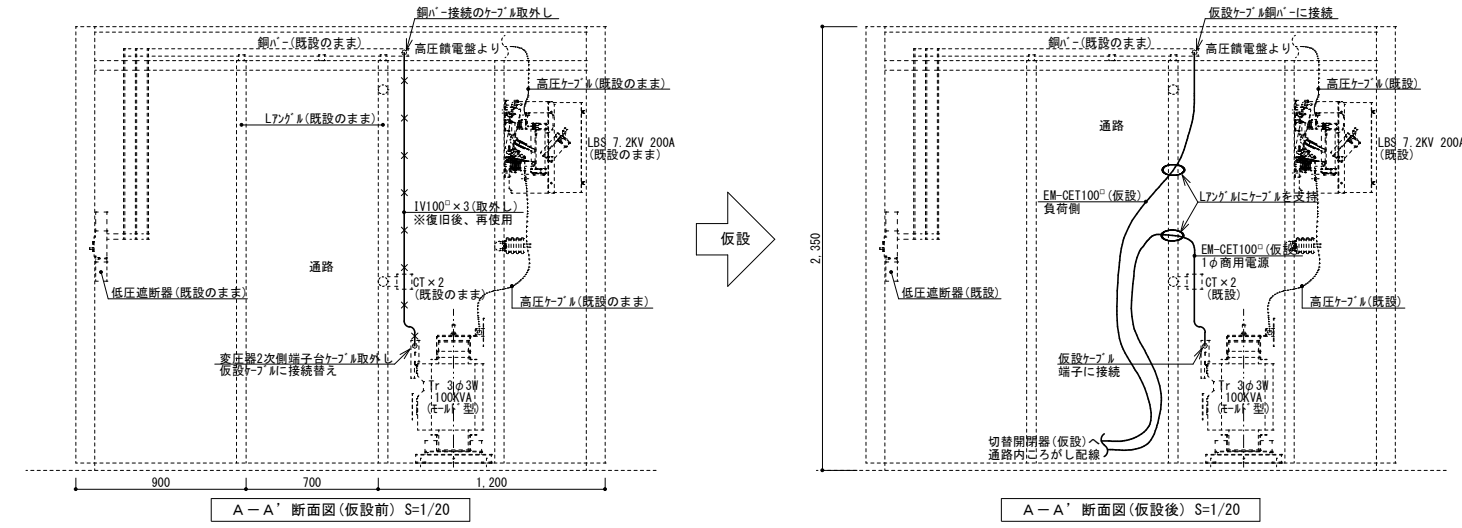


仮設切替フロー (商用⇄発電機) ◆ 手動操作・確認を表す



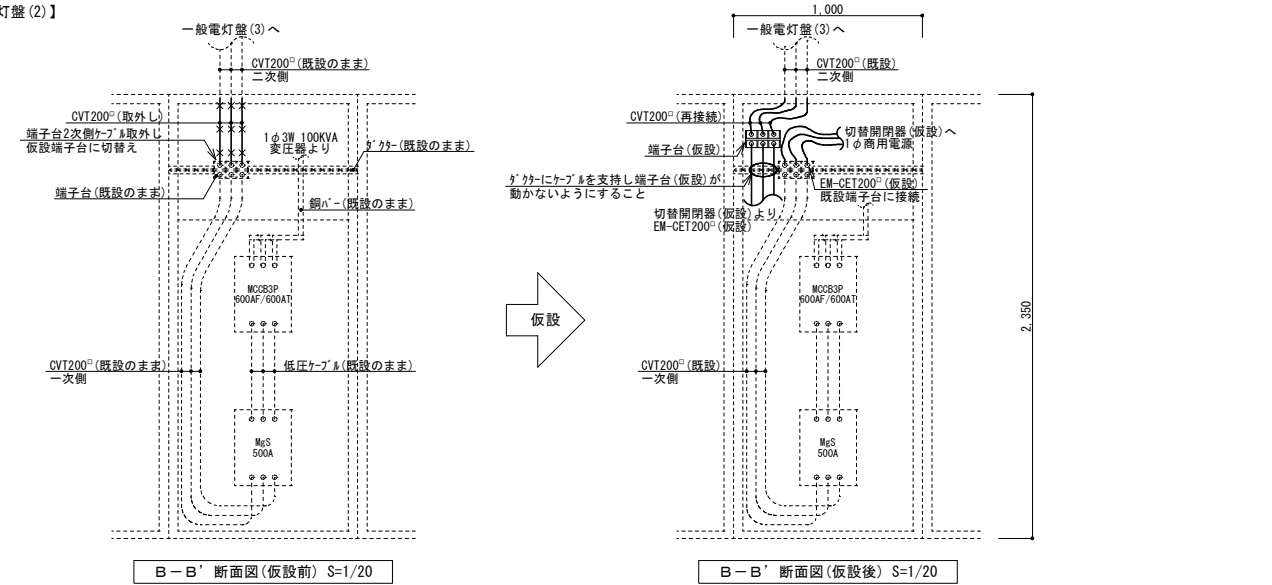
仮設切替要領図① 【非常動力盤、保安動力盤(3)】

※保安動力盤(3)も同様の仮設方法とすること(断面図は非常動力盤)
※復電後に動作確認を行うこと



仮設切替要領図② 【保安電灯盤(2)】

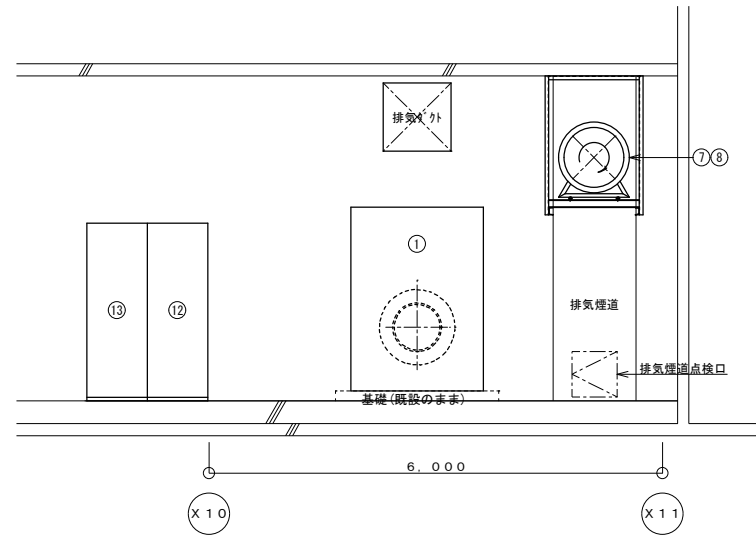
※復電後に動作確認を行うこと



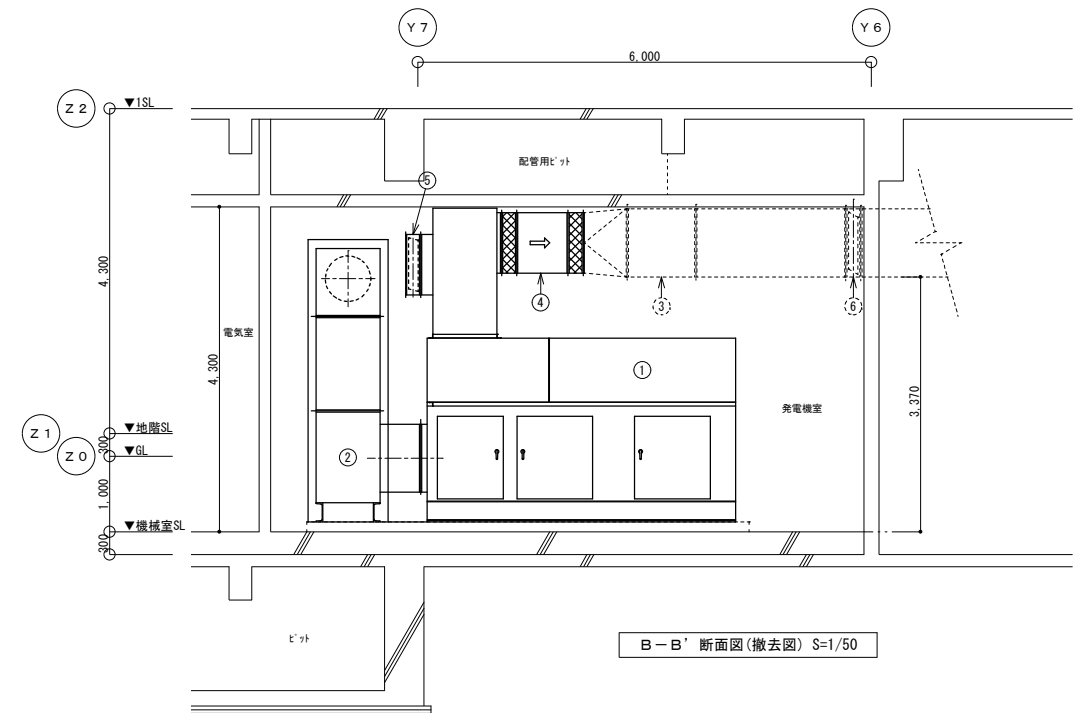
仮設計画図② S=1/50

機器リスト(撤去)					
名称	仕様	数量	撤去範囲	参考重量	撤去範囲
① ガスタービン発電装置	440V 625KVA 85dB(A)	1	撤去	7600kg	基礎既設流用
② 排気消音器	85dB(A)	1	撤去	1500kg	基礎既設流用
③ 換気消音器	85dB(A) 190m ³ /min時60pa損失 900×900×900	1	既設のまま		
④ 換気ファン	3φ 3W200V 1.5kW	1	撤去	187kg	
⑤ 風量調整ダンパ(VD)	900×900	1	撤去	30kg	
⑥ 換気防火ダンパ(FD)	1200×900	1	既設のまま		
⑦ 給気消音器	85dB(A)	1			
⑧ 給気ファン	3φ 3W200V	1	撤去		
⑨ 換気防火ダンパ(FD)		1	既設のまま		
⑩ 燃料小出槽	490L(A重油)	1	既設のまま		
⑪ 燃料返油ポンプ	3φ 3W200V 0.75kW	1	撤去		
⑫ 自動始発電機盤		1	撤去	1100kg	
⑬ 直流電源盤	蓄電池共 DC24V	1	撤去	900kg	
⑭ 給気吹出口	吹出口+ダクト	1	既設のまま		

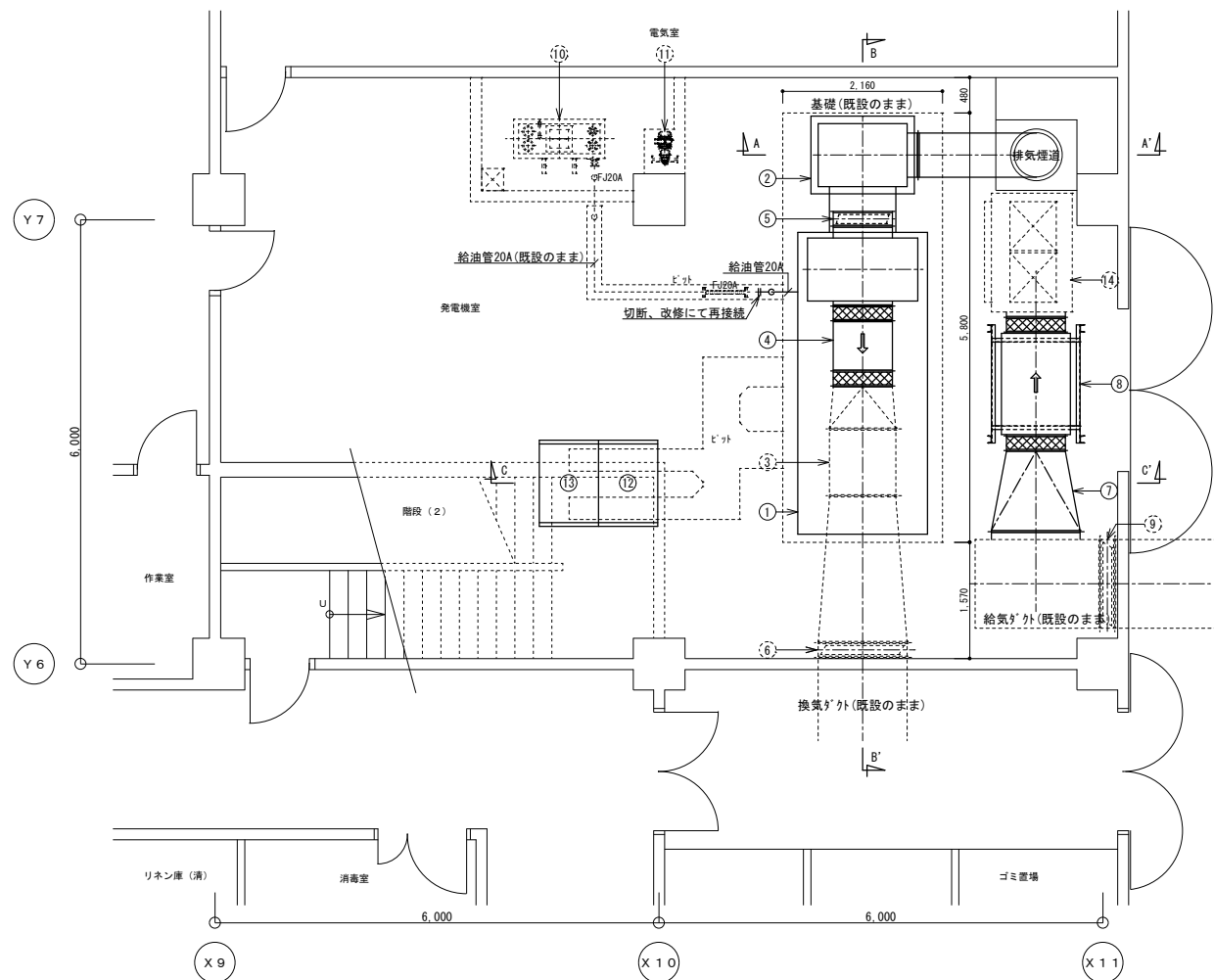
※発電装置・ダクト類は発電機室内で分解し撤去・処分とすること



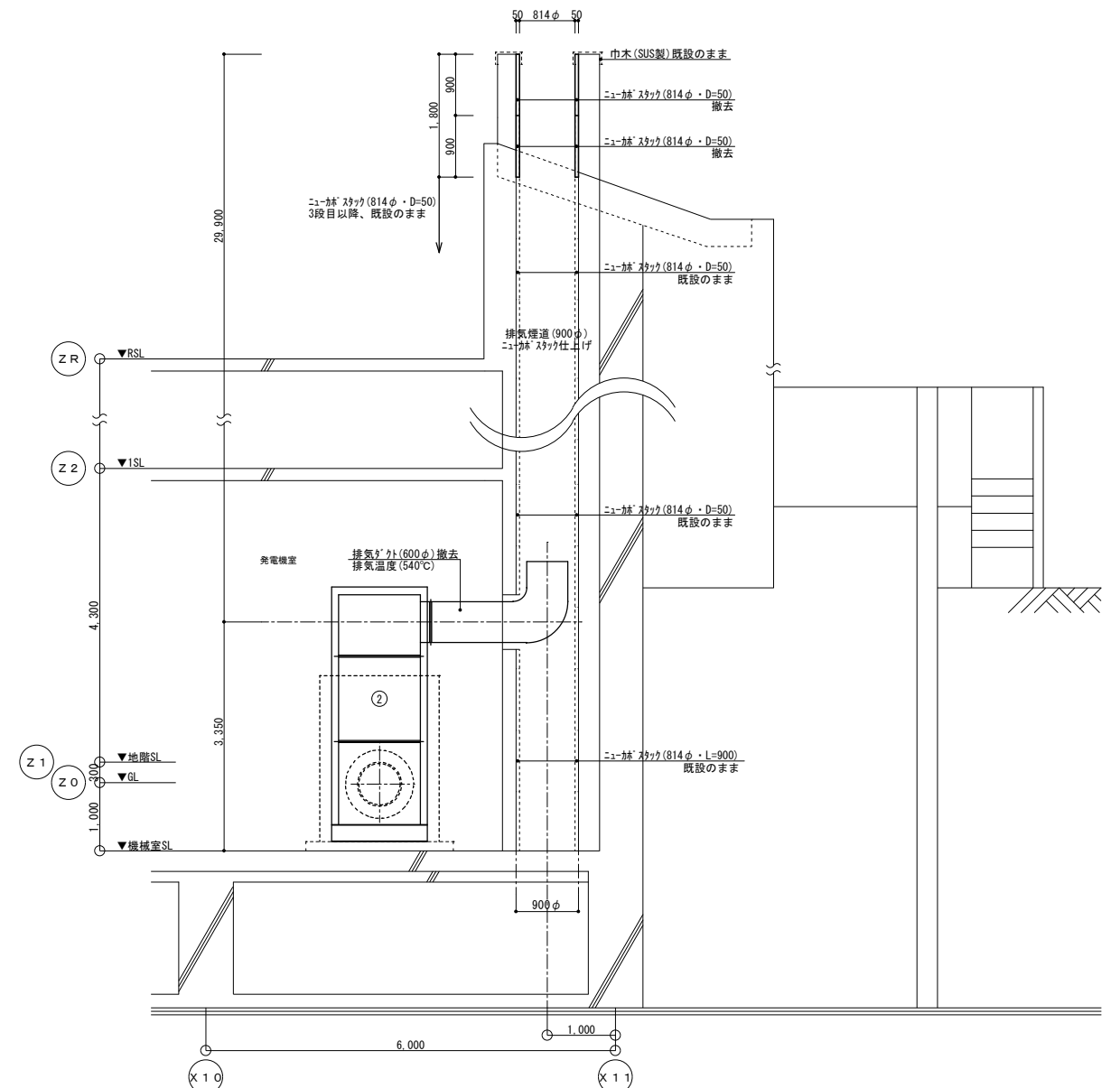
C-C' 断面図(撤去図) S=1/50



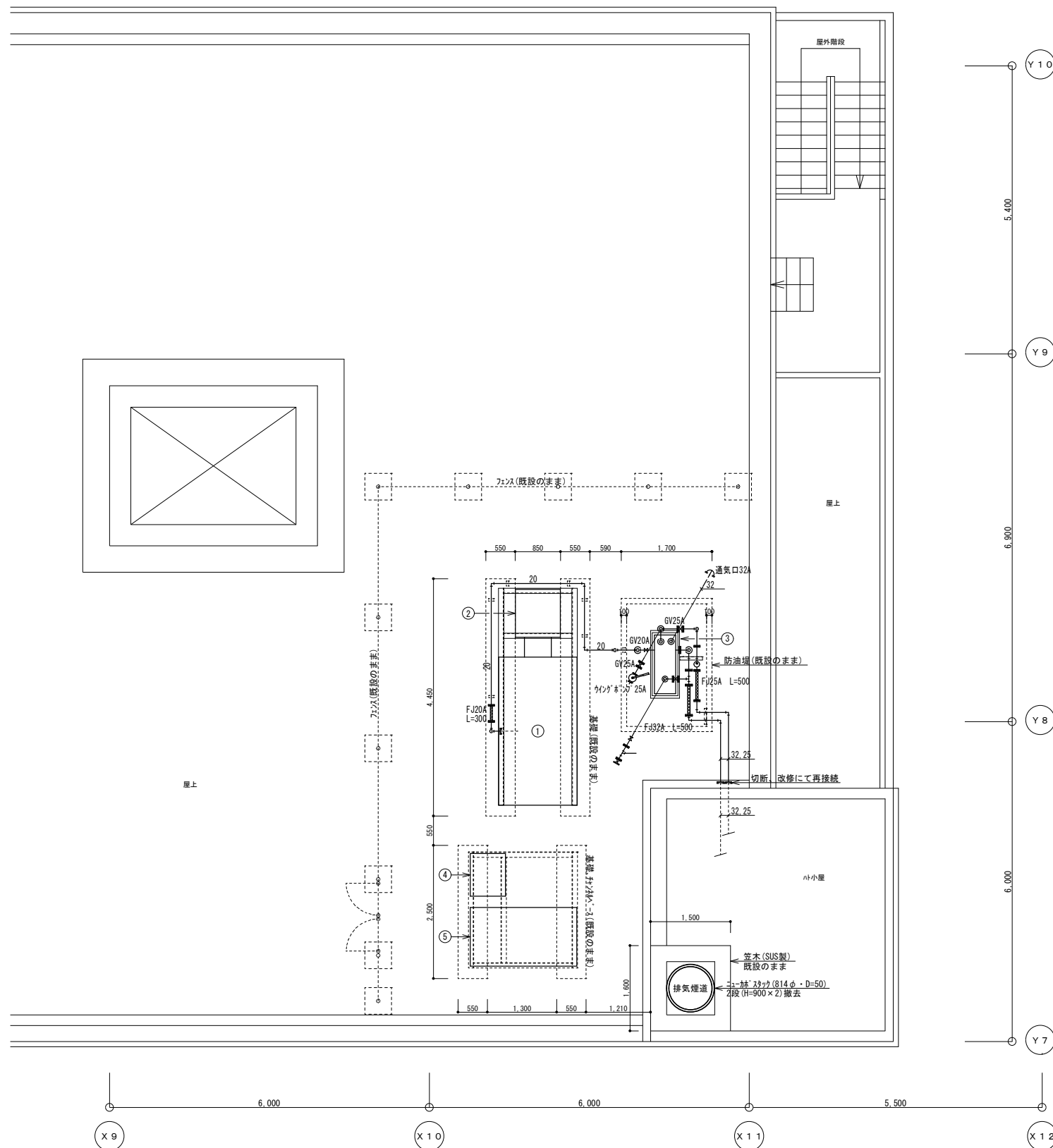
B-B' 断面図(撤去図) S=1/50



地階平面図(撤去図) S=1/50

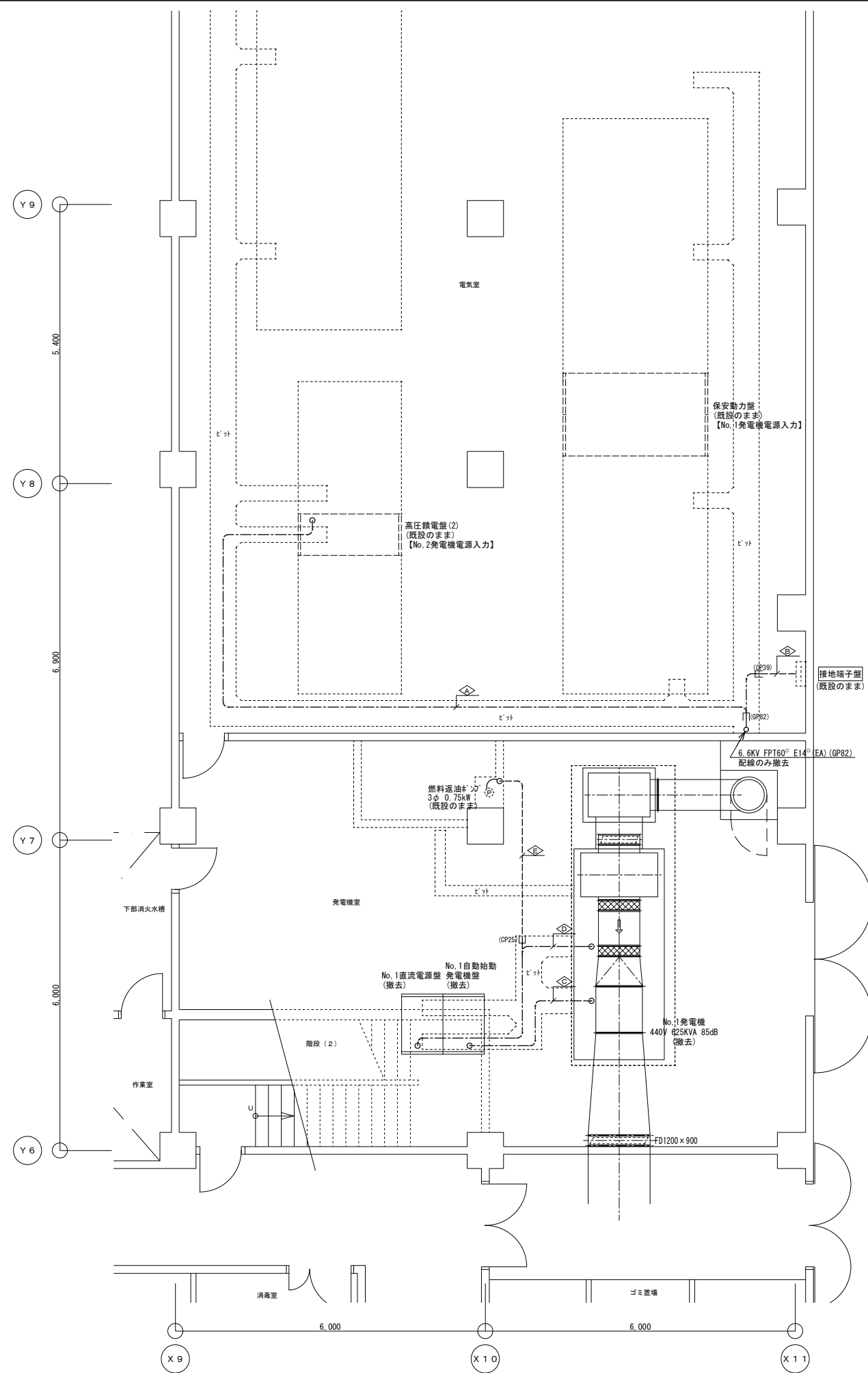


A-A' 断面図(撤去図) S=1/50



R階平面図(撤去図)S=1/50

機器リスト(撤去)					
名称	仕様	数量	備考	撤去範囲	
① ガスタービン発電装置	3φ 6,600V 225KVA 85dB(A)	1	重量: 3600kg	ファンハウス共撤去、基礎既設のまま	
② 排気消音器	85dB(A)	1	重量: 600kg	撤去、基礎既設のまま	
③ 燃料小出槽	490L(A重油) 架台H=1500	1	重量: 800kg	撤去、防油堤既設のまま	
④ 自動始動発電機盤		1	重量: 1400kg	撤去、基礎・ファンハウス既設のまま	
⑤ 直流電源盤	HS24V-200Ah×12台(始動用) HS24V-30Ah×4台(制御用)	各1式	重量: 500kg	箱体既設のまま、蓄電池撤去	

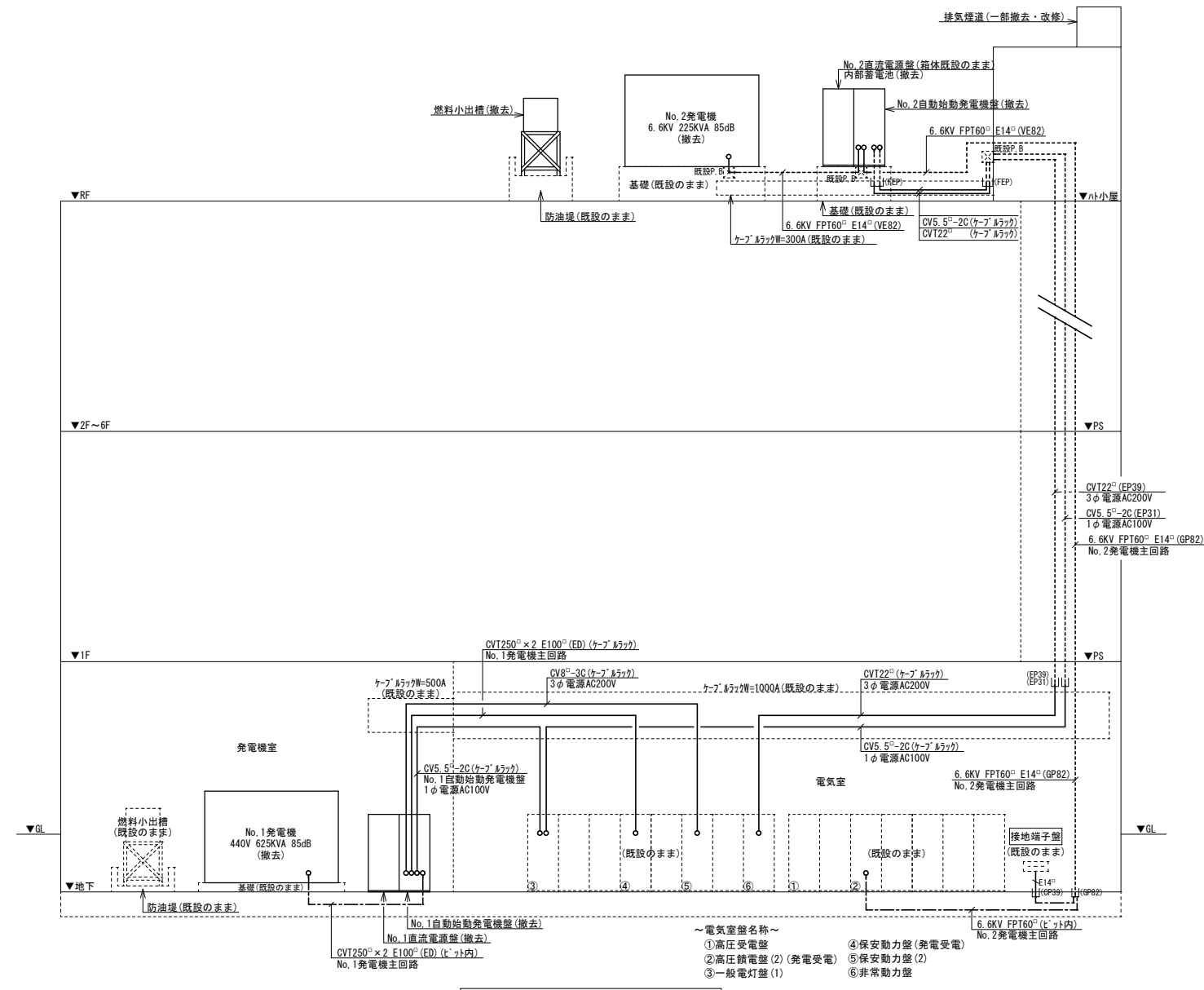


地階平面図(撤去図) S=1/50 (下部)

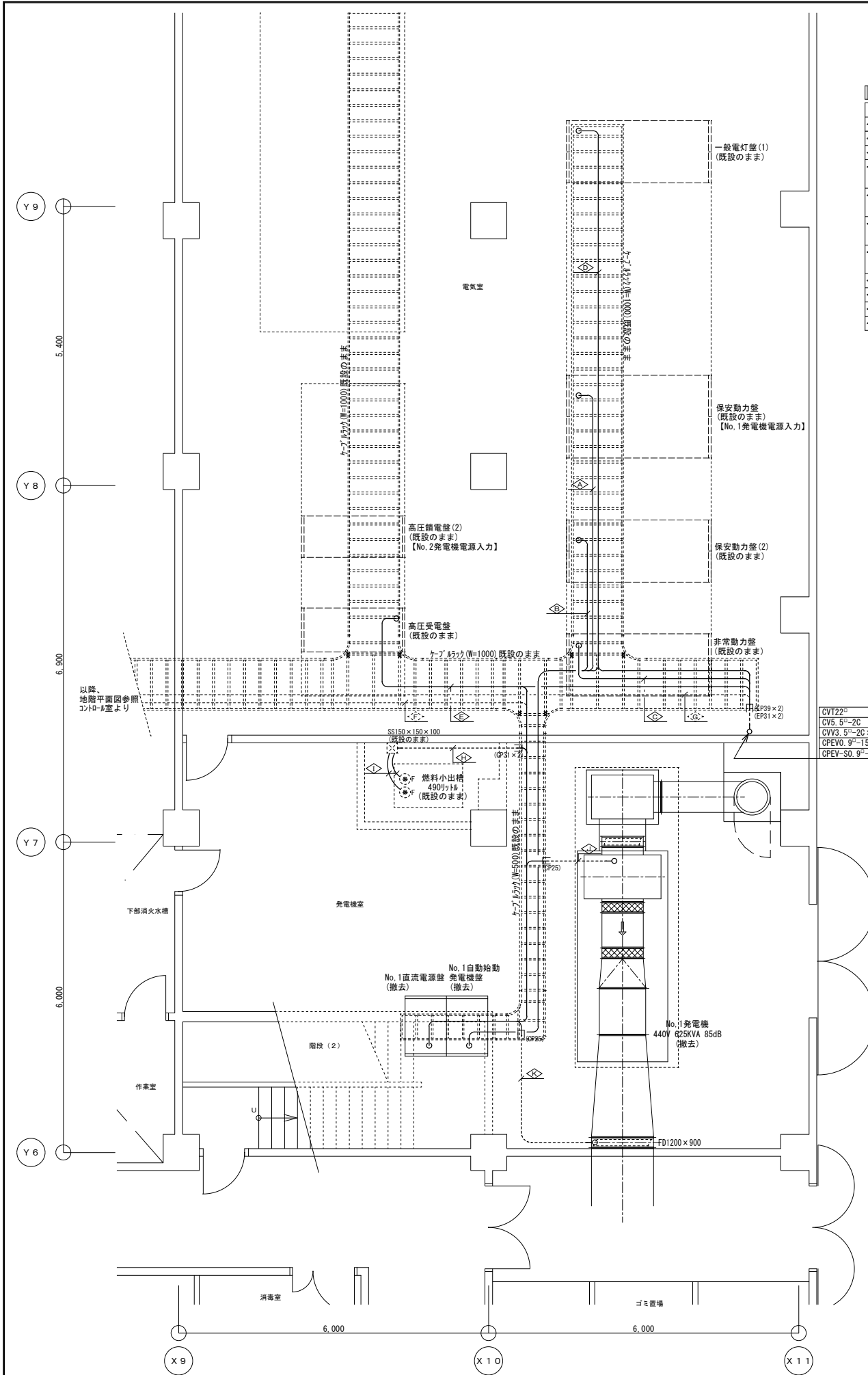
配線リスト(撤去)

配線	配管	径間	種別	撤去範囲
6.6KV FPT160 ²	(ピット内ころがし)	No.2自動始動発電機盤～高圧幹電盤(2)【主回路】	高圧	配線のみ撤去
IV14 ⁴ (EA・発電機用)	(OP39～ピット内ころがし)	接地端子盤～No.2自動始動発電機盤【接地】	接地	配線のみ撤去
CVT250 ² ×2 E100 ² (ED)	(ピット内ころがし)	No.1発電機～No.1自動始動発電機盤【主回路】	低圧	配線のみ撤去
CV5.5 ⁵ -3C	(ピット内ころがし)	No.1自動始動発電機盤～No.1発電機【励磁電源】	低圧	配線のみ撤去
CV3.5 ⁵ -3C	(ピット内ころがし)	No.1自動始動発電機盤～No.1発電機【潤滑油クーラーファン】	低圧	配線のみ撤去
CV100 ⁵ -1C×2	(ピット内ころがし)	No.1自動始動発電機盤～No.1発電機【スリヤ用】	低圧	配線のみ撤去
CV3.5 ⁵ -3C E3.5 ⁵	(OP25～ピット内ころがし)	No.1自動始動発電機盤～燃料返油ポンプ【燃料返油ポンプ電源】	低圧	配線のみ撤去

- 露出部分は配管、配線共撤去とする
 - 地中、打込、隠ぺい部分は配管既設のまま、配線のみ撤去とする
- ：配管・配線立上げ・立下げ位置を表す



No.1・No.2発電機電源現況系統図 S=NO. SCALE



地階平面図(撤去図)S=1/50 (上部)

配線リスト(撤去)

記号	配線	配管	径間	種別	撤去範囲
◇	CVT250 ² × 2 E100 ² (ED)	(ケーブル)	No. 1自動始動発電機室～保安動力盤	【主回路】	配線のみ撤去
◇	CV8 ² -3C	(ケーブル)	保安動力盤(2)～No. 1自動始動発電機室	【3φ電源AC200V】	配線のみ撤去
◇	CVT22 ²	(ケーブル)	非常動力盤～No. 2自動始動発電機室	【3φ電源AC200V】	配線のみ撤去
◇	CV5. 5 ² -2C	(ケーブル)	一般電灯盤(1)～No. 1自動始動発電機室	【1φ電源AC100V】	配線のみ撤去
◇	CV5. 5 ² -2C	(ケーブル)	一般電灯盤(1)～No. 2自動始動発電機室	【1φ電源AC100V】	配線のみ撤去
◇	CV3. 5 ² -2C × 2	(ケーブル)	高圧受電盤～No. 1自動始動発電機室	【停電信号・インポート】	制御配線のみ撤去
◇	CV3. 5 ² -2C × 2	(ケーブル)	高圧受電盤～No. 2自動始動発電機室	【停電信号・インポート】	制御配線のみ撤去
◇	CPEV0. 9 ² -15P	(ケーブル)	コントロール室中央監視盤～No. 1自動始動発電機室	【状態、故障信号】	制御配線のみ撤去
◇	CPEV0. 9 ² -7P	(ケーブル)	コントロール室中央監視盤～No. 1自動始動発電機室	【計測信号】	制御配線のみ撤去
◇	CPEV0. 9 ² -15P	(ケーブル)	コントロール室中央監視盤～No. 2自動始動発電機室	【状態、故障信号】	制御配線のみ撤去
◇	CPEV0. 9 ² -7P	(ケーブル)	コントロール室中央監視盤～No. 2自動始動発電機室	【計測信号】	制御配線のみ撤去
◇	CV2 ² -3C × 2	(CP31 × 2)	No. 1自動始動発電機室～燃料小出槽	【フロート信号】	制御配線のみ撤去
◇	CV2 ² -3C × 2	(ケーブル)	No. 1自動始動発電機室～燃料小出槽	【フロート信号】	制御配線のみ撤去
◇	CV5. 5 ² -3C	(OP25)	No. 1自動始動発電機室～換気ファン	【換気ファン電源】	配線・配管共撤去
◇	CV2 ² -2C	(OP25)	No. 1自動始動発電機室～換気ファン	【換気ファン電源】	配線・配管共撤去

機器凡例表(撤去)

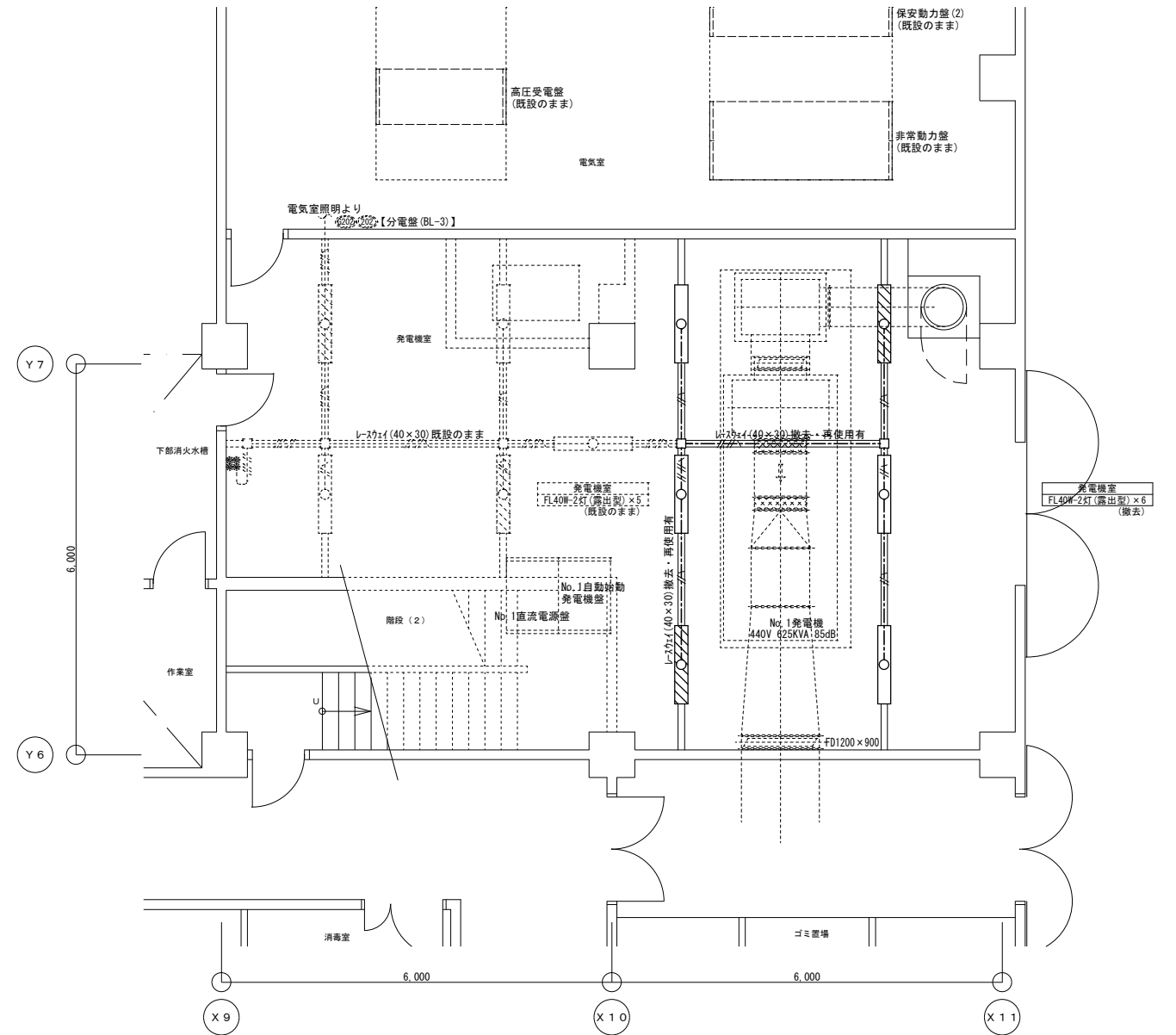
記号	名称	仕様	備考
□	接地端子盤	壁掛型・鋼板製	既設のまま
○	アースボックス	標記とする	既設のまま
○	電動機(ポンプ)	燃料返油用	既設のまま
○	電機	3P	既設のまま
○	照明器具	FL40W-2灯 天井直付型	撤去
○	照明器具(発電機回路)	FL40W-2灯 天井直付型	撤去
○	照明器具	FL40W-2灯 天井直付型	既設のまま
○	照明器具(発電機回路)	FL40W-2灯 天井直付型	既設のまま
○	埋込プラグスイッチ	1P15A × 1	既設のまま
○	ジャンクションボックス	レスタイ用	撤去・再使用有
○	ジャンクションボックス	レスタイ用	既設のまま

配線表

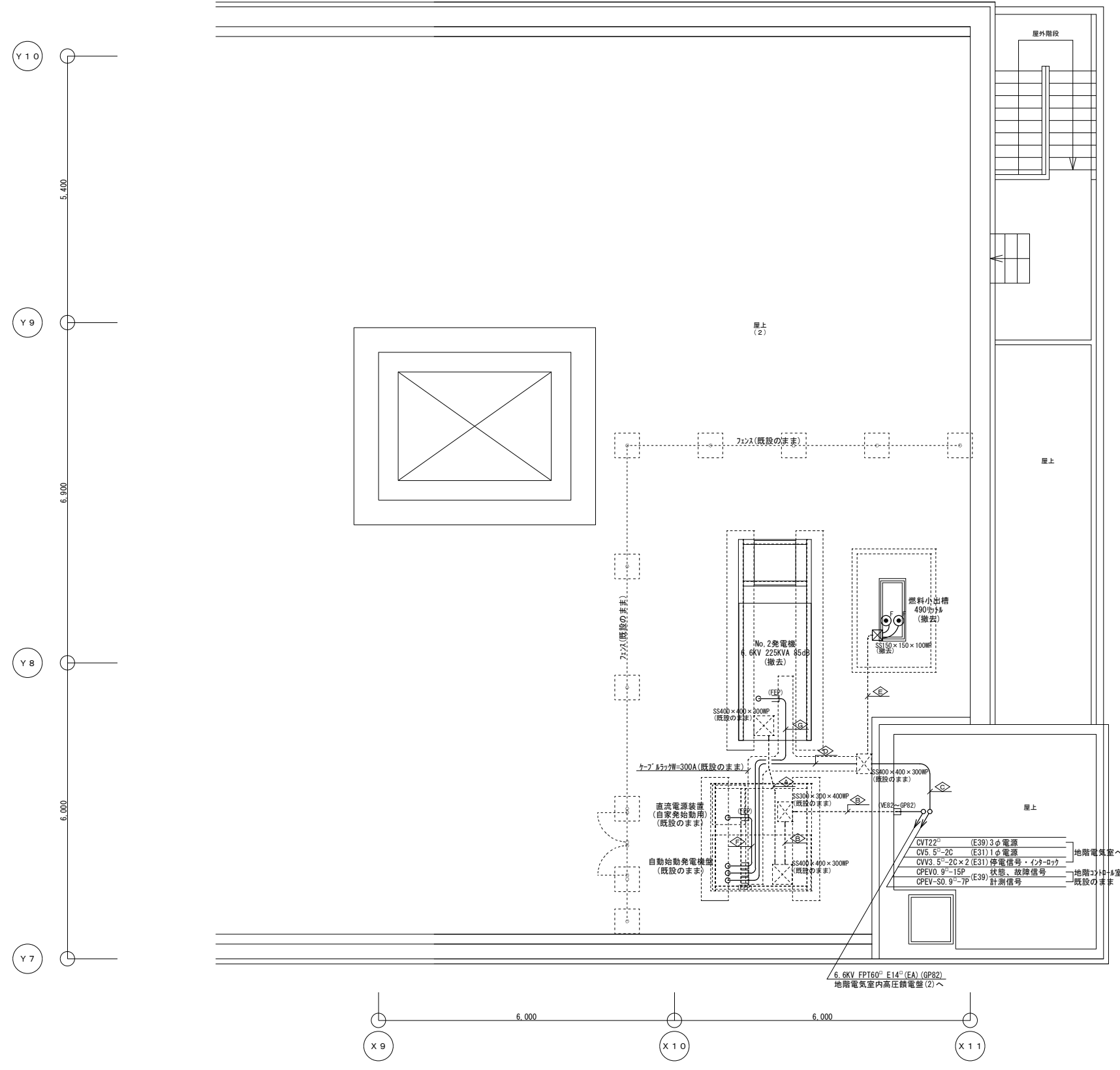
記号	名称	保護管
—	IV1. 6 × 3	(レスタイ) (40 × 30)
—	IV1. 6 × 2 E1. 6	(レスタイ) (40 × 30)
—	IV1. 6 × 4 E1. 6	(レスタイ) (40 × 30)

- 配管・配線 隠ぺい・打込
- - - 配管・配線 床隠ぺい
- ⋯⋯ 配管・配線 露出
- ⋯⋯ 配管・配線 天井内(0A707)
- ⋯⋯ 配管・配線 地中埋設
- ⋯⋯ 配管・配線 二重床内(0A707)
- 図中大線(実線)は撤去を表す
- ⋯⋯ 図中細線(点線)は既設のままを表す

- 露出部分は配管、配線共撤去とする
 - 打込、隠ぺい部分は配管既設のまま、配線のみ撤去とする
 - レスタイ部分はレスタイ撤去・再使用有、配線のみ撤去とする
- : 配管・配線立上げ・立下げ位置を表す
- : 1φ200V回路(発電機)を示す
- : 1φ200V回路(商用)を示す



地階平面図(撤去図)S=1/50 (電灯設備)



R階平面図 (撤去図) S=1/50

配線リスト (撤去)

配線	配管	径間	種別	撤去範囲
◇ 6.6KV FPT60 ² E14 ² (EA)	(VE82)	No. 2発電機~No. 2自動始動発電機盤 【主回路】	高圧	配線のみ撤去
◇ 6.6KV FPT60 ² E14 ² (EA)	(VE82)	No. 2自動始動発電機盤~高圧積電盤 (2) 【主回路】	高圧	配線のみ撤去
◇ CVT22 ²	(E39)	非常動力盤~No. 2自動始動発電機盤 【3φ電源AC200V】	低圧	配線のみ撤去
CV5. 5 ² -2C	(E31)	一般電灯盤 (1)~No. 2自動始動発電機盤 【1φ電源AC100V】	低圧	配線のみ撤去
CVV3. 5 ² -2C×2	(E31)	高圧受電盤~No. 2自動始動発電機盤 【停電信号・インターロック】	制御	配線のみ撤去
CPEV0. 9 ² -15P	(E39)	コントロール室中央監視盤~No. 2自動始動発電機盤 【状態、故障信号】	制御	既設のまま
CPEV-S0. 9 ² -7P	(E39)	コントロール室中央監視盤~No. 2自動始動発電機盤 【計測信号】	制御	既設のまま
◇ CVT22 ²	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	非常動力盤~No. 2自動始動発電機盤 【3φ電源AC200V】	低圧	配線、配管共撤去
CV5. 5 ² -2C	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	一般電灯盤 (1)~No. 2自動始動発電機盤 【1φ電源AC100V】	低圧	配線、配管共撤去
CVV3. 5 ² -2C×2	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	高圧受電盤~No. 2自動始動発電機盤 【停電信号・インターロック】	制御	配線、配管共撤去
CVV2 ² -3C×2	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~燃料小出槽 【70-TS1信号】	制御	配線、配管共撤去
CPEV0. 9 ² -15P	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	コントロール室中央監視盤~No. 2自動始動発電機盤 【状態、故障信号】	制御	既設のまま
CPEV-S0. 9 ² -7P	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	コントロール室中央監視盤~No. 2自動始動発電機盤 【計測信号】	制御	既設のまま
◇ CVV2 ² -3C×2	(CP31)	No. 2自動始動発電機盤~燃料小出槽 【70-TS1信号】	制御	配線、配管共撤去
◇ CV3. 5 ² -2C×2	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2直流電源装置 【制御電源】	低圧	配線、配管共撤去
CV2 ² -2C	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2直流電源装置 【起動信号】	制御	配線、配管共撤去
CV2 ² -2C	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2直流電源装置 【蓄電池液面低下】	制御	配線、配管共撤去
◇ CV3. 5 ² -2C	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2発電機 【励磁回路】	低圧	配線、配管共撤去
CV3. 5 ² -2C	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2発電機 【7-ブロー電源】	低圧	配線、配管共撤去
CV2 ² -2C	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2発電機 【起動信号】	制御	配線、配管共撤去
CV100 ² -1C×2	(ケ-ブ 5 ² ヶヶ~FEP)	No. 2自動始動発電機盤~No. 2発電機 【スチラー用】	低圧	配線、配管共撤去

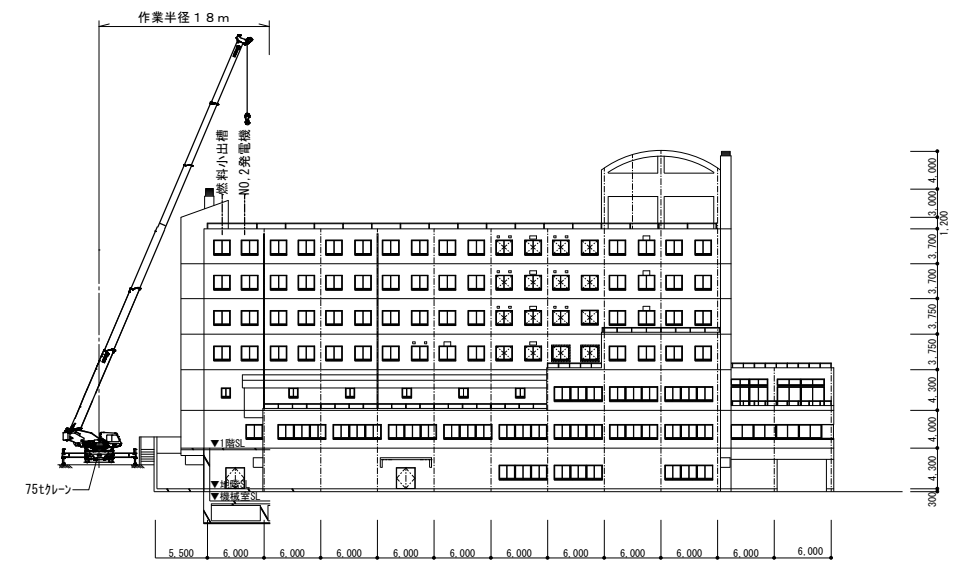
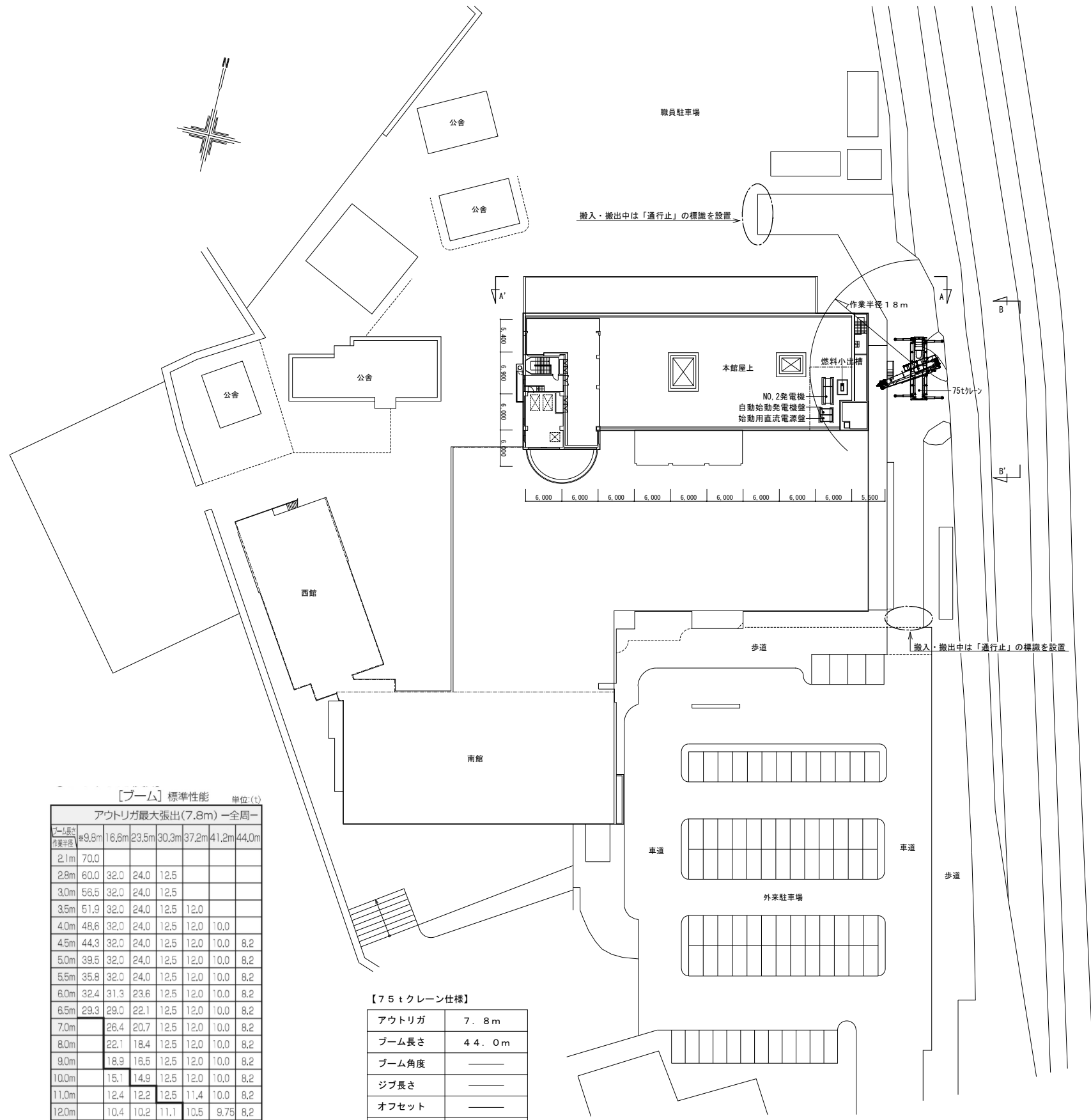
機器凡例表 (撤去)

記号	名称	仕様	備考
☒	ブシツクス	傍記とする	撤去
☒	ブシツクス	傍記とする	既設のまま
⊙	電極	3P	撤去

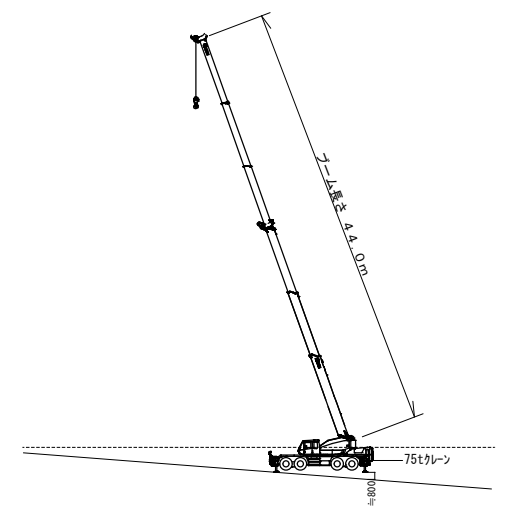
・ 図中大線 (実線) は撤去を表す
 ・ 図中細線 (点線) は既設のままを表す

———	配管・配線	隠べい・打込
-----	配管・配線	床隠べい
-----	配管・配線	露出
-----	配管・配線	天井内こがし
-----	配管・配線	地中埋設
-----	配管・配線	二重床内 (OA707)
———	・ 図中大線 (実線) は撤去を表す	
-----	・ 図中細線 (点線) は既設のままを表す	

- 露出部分は配管、配線共撤去とする
 - 地中、打込、隠べい部分は配管既設のまま、配線のみ撤去とする
- : 配管立上げ・立下げ位置を表す



A-A' 断面図 S=1/400



B-B' 断面図 S=1/400
※板木等組み、車体を水平にして作業すること

配置図 S=1/400

【ブーム】標準性能 単位:(t)

アウトリガ最大張出(7.8m) 一周

ブーム長さ	9.9m	16.6m	23.5m	30.3m	37.2m	41.2m	44.0m
作業半径	9.9	16.6	23.5	30.3	37.2	41.2	44.0
2.1m	70.0						
2.8m	60.0	32.0	24.0	12.5			
3.0m	56.5	32.0	24.0	12.5			
3.5m	51.9	32.0	24.0	12.5	12.0		
4.0m	48.6	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	
4.5m	44.3	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	8.2
5.0m	39.5	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	8.2
5.5m	35.8	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	8.2
6.0m	32.4	31.3	23.6	12.5	12.0	10.0	8.2
6.5m	29.3	29.0	22.1	12.5	12.0	10.0	8.2
7.0m	26.4	20.7	12.5	12.0	10.0	8.2	
8.0m	22.1	18.4	12.5	12.0	10.0	8.2	
9.0m	18.9	16.5	12.5	12.0	10.0	8.2	
10.0m	15.1	14.9	12.5	12.0	10.0	8.2	
11.0m	12.4	12.2	12.5	11.4	10.0	8.2	
12.0m	10.4	10.2	11.1	10.5	9.75	8.2	
13.0m	8.8	8.65	9.6	9.75	9.05	8.2	
14.0m		7.45	8.4	8.95	8.4	7.95	
16.0m		5.45	6.35	6.9	7.1	6.9	
18.0m		4.05	4.9	5.4	5.6	5.7	
20.0m		3.0	3.8	4.25	4.45	4.55	

【75tクレーン仕様】

アウトリガ	7.8m
ブーム長さ	44.0m
ブーム角度	—
ジブ長さ	—
オフセット	—
作業半径	18.0m
定格総荷重	5.7t
最大吊荷重	3.4t

発電機本体

【安全率】
 定格総荷重(フック+吊具) × 0.8 = 安全吊荷重
 5.7t - (0.1t) × 0.8 = 4.48t
 安全吊荷重4.48tに対し最大吊荷重は3.73tの為、問題なし
 (4.48t > 3.73t) ...OK